お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス http://www.pentax.jp/

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター

ナビダイヤル 0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS、IP 電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間 午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0690 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下 1 階）

営業時間 午前 10：30 ～午後 6：30

休業日 毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

HOYA株式会社

PENTAXイメージング・システム事業部

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53416

H02-200902
Printed in China

Optio E60

PENTAX

デジタルカメラ

Optio E60

使用説明書

PictBridge

カメラの正しい操作のため、
ご使用前に必ずこの使用説明書
をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio E60をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、OptioおよびオプティオはHOYA株式会社の登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。
本説明書ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止して電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

電池の取り扱いについてのご注意

- このカメラは、単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれか2本を使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「＋」と「－」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

ACアダプターについて

 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SD メモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口に点検にお出しください。

- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが､常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ､温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SD メモリーカードの取り扱いについては、「SD メモリーカード使用上の注意」（p.25）をご覧ください。
- SD メモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても､市販の修復ソフトを使用すると､データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので､画像モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると､カメラが変形したり画像モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

画像編集する・印刷する 109

音声を録音する・再生する 130

設定 133

付録 149

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 撮影を始める前に

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作を説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

3 操作の基本

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

4 撮影する

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法を説明しています。

5 再生する・消去する

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

6 画像編集する・印刷する

撮影した静止画の印刷方法や、カメラで編集する方法を説明しています。撮影した画像をパソコンへ保存する方法と付属アプリケーションソフトのインストール方法は別紙の「PC接続ガイド」を、パソコンでの画像の加工や印刷方法は、アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

7 音声を録音する・再生する

このカメラのマイクを使って音声を録音する方法(ボイスレコーディングモード)、音声の再生のしかたを説明しています。

8 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

9 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

1
2
3
4
5
6
7
8
9

このカメラの楽しみ方

Optio E60では、撮りたいシーンや被写体に合わせた撮影を、カンタン操作で楽しめます。ここではOptio E60の特長をご紹介します。操作説明のページもあわせてご覧いただき、Optio E60の楽しさを味わってください。

撮影も再生も、カメラがナビゲート！

Optio E60は、大きく見やすい2.4型画像モニターを搭載しています。シーンに合わせた撮影や、画像の再生・編集も、画像モニターに表示されるアイコンを選ぶだけのカンタン操作です。
気軽に撮りたいときは、（グリーン）モード。むずかしい設定はなし、ボタンひとつでいつでも撮れる便利なモードです。（p.53）
撮影モード選びに迷ったら、AUTO PICT（オートピクチャー）を。カメラが撮りたいシーンにピッタリなモードを選んでくれるので、失敗もありません。*（p.55）

* AUTO PICT（オートピクチャー）では、（標準）、（夜景）、（風景）、（ポートレート）、（夜景ポートレート）、（スポーツ）、（花）の中から最適な撮影モードが選ばれます。

- **めんどうな設定はカメラにまかせて。**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。**

パノラマ写真やフレーム付き写真が楽しい！

Optio E60では、お子様やペットの写真をかわいいフレームを付けて撮影できます。（p.64）撮った写真に後からフレームを合成することももちろんOK! またパノラマ写真もパソコンを使わずに簡単に撮影できます。（p.62）

- **フレームを使った記念写真に。**
- **パノラマ撮影でダイナミックな風景写真を。**

パソコンなしで、お手軽プリント！

PictBridge対応のプリンターなら、カメラをUSB/AVケーブルでつないでダイレクトにお気に入りの写真をプリントできます。
せっかく撮った写真を家庭でプリントしたいけど、パソコンの操作はどうも難しくて・・・なんてあきらめる必要はありません。

- **パソコンを使わず、お手軽ラクラクプリント。**

撮った画像はカレンダーで表示！

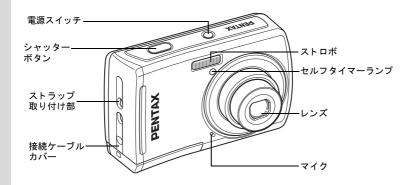
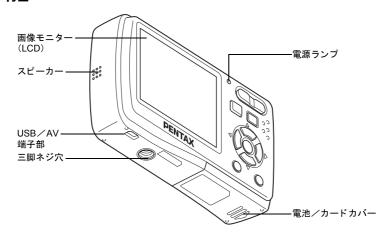
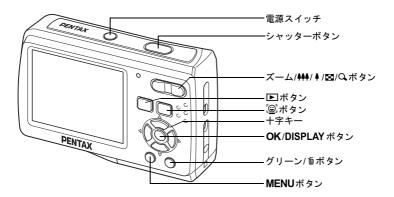
たくさん撮った画像の整理はたいへん。でもOptio E60なら撮影日ごとにカレンダー表示できるので、アルバムをめくるように、大切な一枚を見つけることができます。（p.94）

各部の名称

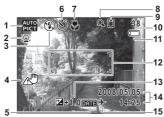
前面

電源スイッチ
シャッターボタン
ストロボ
セルフタイマーランプ
ストラップ取り付け部
レンズ
接続ケーブルカバー
マイク
PENTAX

背面

画像モニター（LCD）
電源ランプ
スピーカー
USB／AV端子部
三脚ネジ穴
電池／カードカバー
PENTAX

操作部の名称

各ボタンの機能については、「ボタンのはたらき」（p.39〜p.42）をご覧ください。

画面表示の意味

静止画撮影モード 通常表示
撮影条件などを表示します。

1 撮影モード（p.48）
2 顔認識アイコン (p.50)
3 ストロボモード（p.75）
4 手ぶれ警告表示（p.80）
（シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます）
5 日付写し込み設定中（p.84）
6 ドライブモード（p.81～p.83）
7 フォーカスモード（p.72）
8 デジタルズーム表示および
インテリジェントズーム表示 (p.69)
9 メモリー状態表示（p.27）
：内蔵メモリー（カードなし）
：SDメモリーカード
：カードロック状態
10 撮影可能枚数
11 電池残量表示（p.20）
12 フォーカスフレーム（p.33）
13 露出補正値（p.79）
14 現在の日時（p.31）
15 ワールドタイム設定中（p.138）

※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。

静止画撮影モード フル表示
(説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。)

1 シャッタースピード
(シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます)

2 絞り値
(シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます)

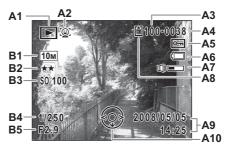
3 記録サイズ(p.66)

4 画質(p.68)

5 ISO感度(p.77)

※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。

静止画再生モード フル表示
(説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。)

撮影条件などを表示します。A1～A10は「通常」表示、「詳細情報」表示のいずれの場合も表示されます。B1～B5は「詳細情報」表示のときにのみ表示されます。(p.92)

A1	再生モード(p.52)	**A9**	撮影日時(p.31)
A2	顔認識アイコン(p.50)	**A10**	十字キー操作ガイド
A3	フォルダ番号(p.141)	**B1**	記録サイズ(p.66)
A4	ファイル番号(p.36)	**B2**	画質(p.68)
A5	画像プロテクト表示(p.107)	**B3**	ISO感度(p.77)
A6	電池残量表示(p.20)	**B4**	シャッタースピード
A7	音量表示(p.134)	**B5**	絞り値
A8	メモリー状態表示(p.27) :内蔵メモリー(カードなし) :SDメモリーカード :カードロック状態		

通常表示時に、2秒間ボタン操作をしないと、A6、A9の表示は消えます。

「ボタン操作ガイド」について

操作中は画像モニターに「ボタン操作ガイド」が表示されます。
「ボタン操作ガイド」では、ボタンは次のように表されます。

十字キー(▲)	▲	ズームボタン	
十字キー(▼)	▼	**OK/DISPLAY**ボタン	OK
十字キー(◀)	◀	シャッターボタン	SHUTTER
十字キー(▶)	▶	グリーン/ボタン	◉または
MENUボタン	MENU	ボタン	

撮影を始める前に

同梱品を確認しましょう

以下の同梱品が入っていることを確認してください。

本体
Optio E60

ストラップ
O-ST62（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW81

USB/AVケーブル
I-UAV77（※）

単3形アルカリ電池
（2本）

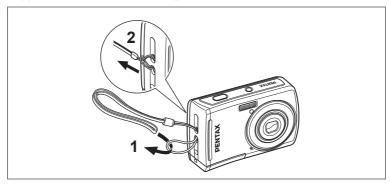
PC接続ガイド

使用説明書（本書）

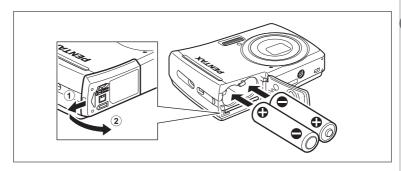
保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.155）をご覧ください。

ストラップを取り付けましょう

付属のストラップ（O-ST62）を取り付けます。

1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す

2　ストラップの端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める

電源を準備しましょう

電池の入れかた

カメラに電池をセットします。電池は単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれかを2本使用します。

1 電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2 電池の向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する

3 電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向に水平に押し込む

- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）をご使用ください。（p.21）

• 静止画撮影可能枚数と再生時間の目安
（単3アルカリ電池使用時・23℃・画像モニター点灯・電池交換時）

静止画撮影枚数※1	再生時間※2
約200枚	約280分

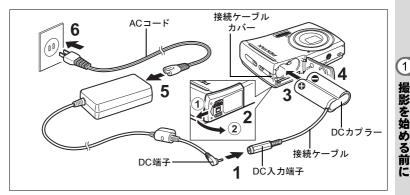
※1：撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：画像モニターON、ストロボ使用率50%、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3形アルカリ電池、単3形ニッケルマンガン電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、単3形リチウム電池や単3形ニッケル水素電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。

• 電池の残量表示

画像モニターに表示された で、電池の残量を確認できます。

画面表示	電池の状態
（緑）	電池がまだ十分に残っています。
（緑）	少し減っています。
（黄）	かなり減っています。
（赤）	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源がオフとなります。

単3形ニッケルマンガン電池使用時、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。残量が少なくなった電池であっても、電池残量表示が になる場合があります。また、表示が のまま、警告なく電源がオフになることがあります。

ご家庭の電源で使うには

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）を接続して、家庭用電源でのご使用をおすすめします。
※ACアダプターキットK-AC62Jは、ACアダプターD-AC62、DCカプラーD-DC51、ACコードD-CO2Jのセットです。

1　ACアダプターのDC端子を、DCカプラーのDC入力端子に接続する

2　カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

3　DCカプラーの向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

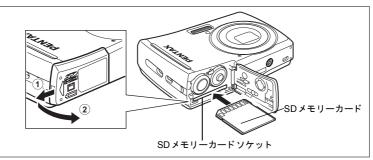
4　接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める

電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

5　ACコードをACアダプターに接続する

6　電源プラグをコンセントに差し込む

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）、「ACアダプターについて」（p.3）をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC62Jに同梱の使用説明書をあわせてご覧ください。

SDメモリーカードを入れましょう

このカメラで使用できるのは、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードです。（使い方はいずれも同じです。本書では以降SDメモリーカードと表記します。）撮影した画像や録音した音声は、カメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。

- 未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.133）をご覧ください。
- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（p.160）

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

1 電池／カードカバーを開ける

電池／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2 SD メモリーカードのラベル面をカメラの画像モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

3 電池／カードカバーを閉めて、①と逆方向へ水平に押し込む

SDメモリーカードを取り出す

1 電池／カードカバーを開ける

2 SDメモリーカードを中に押し込む

SD メモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

SDメモリーカード使用上の注意

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  画像モニターでは⚿と表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSB/AVケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- SDメモリーカードを長期間使用しない場合、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.133）をご覧ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄する際にはメモリーカード本体を物理的に破壊する、譲渡する際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
  メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

撮影できる静止画の枚数

静止画の用途に合わせて、「記録サイズ」と「画質」を選びます。
記録サイズは「10M」「7M」「5M」「3M」「2.1M (16:9) (1920x1080)」「1024」「640」の7種類から選べます。画質は「★★★(S.ファイン)」「★★(ファイン)」「★(エコノミー)」から選べます。設定は、「撮影」メニューで行います。

記録サイズを選ぶ ☞p.66

画質を選ぶ ☞p.68

「記録サイズ」と「画質」の組み合わせにより、撮影できる静止画の枚数が変わります。詳しくは下記のページをご覧ください。

撮影枚数と時間（静止画）☞p.160

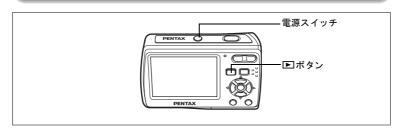
動画を撮影できる時間

動画の用途に合わせて、「記録サイズ」と「フレームレート」を選びます。記録サイズは「640」「320」、フレームレートは「30fps」「15fps」から選べます。設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の撮影条件を決める ☞p.89

「記録サイズ」と「フレームレート」の組み合わせにより、撮影できる時間が変わります。詳しくは下記のページをご覧ください。

撮影時間と録音時間（動画/音声）☞p.161

電源をオン／オフしましょう

撮影モードで電源をオンにする

1 電源スイッチを押す

画像モニターが点灯し、レンズが前に繰り出して撮影モードで起動します。
カメラの電源を入れたときに、「Language／言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.29の手順に従って設定を行ってください。

2 もう一度電源スイッチを押す

画像モニターが消灯し、レンズが収納されて電源がオフになります。

カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、画像モニターに内蔵メモリーのアイコンが表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、カードのアイコンのかわりにロックのアイコンが表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時などの設定が初期化されていることがありますので、p.31の手順に従って設定をしなおしてください。

再生モードで電源をオンにする

Optio E60では、レンズを収納させたまま、再生モードで起動させることができます。撮影はせずに、画像や音声を再生したいときに使います。

1 ▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

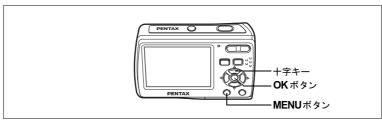
レンズは収納されたまま画像モニターが点灯し、再生モードで起動します。

2 もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする

撮影モードに切り替わります。

静止画を再生する ☞p.36

初期設定をしましょう

お買い上げ後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

カメラの電源を入れたときに、「Language/言語」の画面が表示されたら、下記の「言語を選ぶ」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」（p.31）の手順で日時を現在の日時に設定してください。

> 設定した「言語」と「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。
> - 言語を変更したいときは :「表示言語を変更する」（p.140）
> - 日時を変更したいときは :「日時を変更する」（p.136）

言語を選ぶ

1 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

Language/言語

English	日本語	Türkçe
Français	Dansk	Ελληνικά
Deutsch	Svenska	Русский
Español	Suomi	ไทย
Português	Polski	한국어
Italiano	Čeština	中文繁體
Nederlands	Magyar	中文简体

MENU 取消　　OK 決定

2 OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。「現在地」が東京、「夏時間」が DST OFF に設定されていたら、もう一度**OK**ボタンを押して「日時設定」の画面を表示させます。引き続き、「日時を設定する」（p.31）に進んでください。
それ以外の設定になっていたら、「現在地、夏時間の設定をする」（p.31）の手順3に進んでください。

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の操作で、まず日本語の表示に設定し直してください。

- **「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んでOKボタンを押してしまった！**

1 十字キー(▶)を押す

2 十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選んで、OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。

- **手順2で外国語の設定のまま次の画面を表示させてしまった！**

1 OKボタンを押す

2 MENUボタンを押す

3 十字キー（▶）を押す

4 十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

6 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

7 OKボタンを押す

日本語の「🔧設定」メニューが表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」の設定が「日本語」に設定し直されました。「現在地」と「日時」を設定し直す必要がある場合は、下記のページをご覧になって、「現在地」を「東京」に、「日時」を現在の日時に設定し直してください。

- 現在地を変更したいときは：「ワールドタイムを設定する」（p.138）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（p.136）

現在地、夏時間の設定をする

3　十字キー（▼）を押す

選択枠が「現在地」に移動します。

初期設定
Language/言語　日本語
現在地
東京
MENU 取消　OK 決定

4　十字キー（▶）を押す

「現在地」画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）を押して、「東京」を選ぶ

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

7　十字キー（◀▶）を押して、□（オフ）に設定する

8　OKボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

9　OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1　十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3　十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4　十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5　十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　▸2008/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

9 OKボタンを押す

日時が確定し、撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

- 言語を変更したいときは :「表示言語を変更する」（p.140）
- 日時を変更したいときは :「日時を変更する」（p.136）
- 現在地、夏時間のオン／オフを変更したいときは :「ワールドタイムを設定する」（p.138）

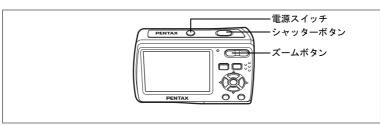
注意

初期設定の途中で**MENU**ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

手順9で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式（NTSC/PAL）が選んだ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設定後の変更のしかたについては下記のページをご覧ください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式 :「都市名一覧」（p.149）
- 初期設定後にビデオ出力方式を変更する :「ビデオ出力方式を選択する」（p.144）

静止画を撮影する

最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を、撮影モードと呼びます。

2 画像モニターで写す範囲を決める

カメラはフォーカスフレーム内でピント合わせをします。
ズームボタンを押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写す

♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

フォーカスフレームの色で、ピントが合っているか確認します。
ピントが合うと、緑色に変わります。ピントが合っていないと白色のまま変わりません。

フォーカスフレーム

「📷撮影」メニューのAFエリアで(自動追尾)が選ばれている場合(p.74)は、ピントが合うと緑色に変わり、ピントが合っていないと色は変わりません。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

撮影した画像は画像モニターに2秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.23）

- 初期設定では、撮影モードは AUTO PICT（オートピクチャー）に設定されています。（p.55）電源をオンにすると、AUTO PICTで静止画を撮影できる状態になります。
- グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定する ▢（グリーン）に切り替わります。（p.53）

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、二段階に分けて静かに押します。
こうすると、手ぶれを防ぎ、ピントをしっかり合わせて撮影できます。

基本の押しかた

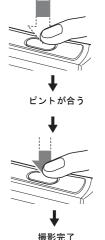
1 シャッターボタンを半押しする

シャッターボタンを軽く押し、途中で止まる部分で指を止めます。（半押し）

2 画像モニターのフォーカスフレームが緑色になるのを、確認する

半押しのまま、緑色に変わるのを待ちます。ピントが合う位置が固定されます。

3 シャッターボタンを全押しする

半押しの状態から、シャッターがきれるまで静かに押し下げます。

シャッターボタンを一気に押し込んで撮影することもできます。この場合、画面全体にピントがあった写真になります。一瞬のシャッターチャンスを逃したくないときに、便利です。

[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

静止画を再生する

画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

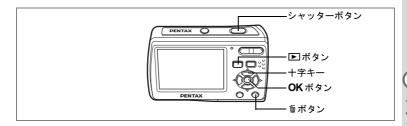
撮影した画像が画像モニターに表示されます。本書ではこの状態を、再生モードと呼びます。
もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに切り替わります。

前後の画像を再生する

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が画像モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

前後の画像が表示されます。

画像を回転して表示する

縦方向で撮った写真を回転して、見やすく表示することができます。

1　撮影後に▶ボタンを押す

撮影した画像が画像モニターに表示されます。

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で◇（画像回転）を選び、OKボタンを押す

回転方向を4種類（0度、右90度、左90度、180度）から選ぶ画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼◀▶）で回転方向を選び、OKボタンを押す

回転した状態で画像が表示されます。

□□□（パノラマ）や ⊞（16連写）で撮影した画像、動画は回転表示できません。

プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

表示した画像を消去するには

1　画像再生中に、🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押す

再生中の画像が消去されます。

3　▶ボタンを、もう一度押す

撮影できる状態になります。
シャッターボタンを半押ししても、撮影できる状態に戻ります。

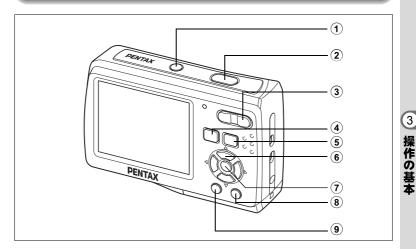
撮影モードと再生モードを切り替えるには

撮影モードから再生モードへ

▶ボタンを押すと、切り替わります。

再生モードから撮影モードへ

▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると切り替わります。

ボタンのはたらき

撮影モードのとき

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.27）

② **シャッターボタン**
撮影モードで半押しすると、ピント合わせを行います。（フォーカスモードが、▲、**PF**のときを除く）（p.72）
全押しすると、静止画を撮影します。（p.33）
（動画）では、動画の撮影を開始、終了します。（p.87）
（ボイスレコーディング）では、音声の録音を開始、終了します。（p.130）

③ **ズーム/♠♠♠/♠ボタン**
撮影する範囲を変えます。（p.69）

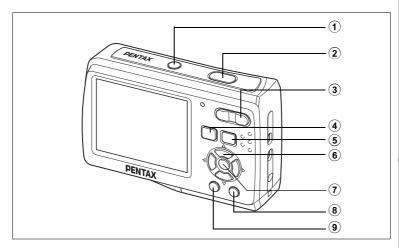
④ **▶ボタン**
再生モードに切り替えます。（p.38）

⑤ 顔検出ボタン
顔検出機能（p.50）を切り替えます。顔検出ボタンを押すたびに、顔認識オフ→顔認識オン→顔認識オフ→・・・と切り替わります。

⑥ 十字キー
（▲）　：ドライブモードを切り替えます。（p.81、p.82）
（▼）　：撮影モードパレットを表示します。（p.48）
（◀）　：ストロボモードを切り替えます。（p.75）
（▶）　：フォーカスモードを切り替えます。（p.72）

⑦ OK/DISPLAY ボタン
画像モニターに表示される情報を切り替えます。（p.80）

⑧ グリーンボタン
（グリーン）に移行します。（p.53）

⑨ MENUボタン
「撮影」メニューを表示します。（p.46）

再生モードのとき

① 電源スイッチ

電源をオフにします。（p.27）

② シャッターボタン

半押しすると撮影モードに切り替わります。（p.36）

③ ズーム/▦/🔍ボタン

1画面表示時に▦を押すと9画面表示になります。🔍を押すと、前の表示に戻ります。（p.93）
1画面表示時に🔍を押すと画像が拡大表示されます。▦を押すと前の表示に戻ります。（p.95）
9画面表示時に▦を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示になります。（p.94）
フォルダ表示時に🔍を押すと、選択フォルダの9画面表示になります。（p.94）
カレンダー表示時に🔍押すと、選択日付の9画面表示になります。（p.94）
動画・音声再生中に音量調節ができます。（p.100、p.132）

④ ▶ボタン

撮影モードに切り替えます。（p.38）

⑤ 顔ボタン

撮影時に顔検出が行われた画像を表示しているときに押すと、顔検出が行われた順に、被写体の顔がクローズアップ表示（顔アップ再生）されます。（p.96）

⑥ 十字キー

（▲）　　　：動画・音声を再生／一時停止します。（p.100、p.132）
（▼）　　　：再生モードパレットに移行します。（p.52）
　　　　　　　再生中の動画・音声を停止します。（p.100、p.132）
（◀ ▶）　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。（p.36）
　　　　　　　動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生をします。（p.100）
　　　　　　　音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。（p.132）
（▲ ▼ ◀ ▶）：拡大表示時は、表示範囲を移動します。（p.95）
　　　　　　　9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダ、カレンダー表示時は日付を選択します。（p.93、p.94）
　　　　　　　フレーム合成時は、画像の位置を調整します。（p.117）

⑦ OK/DISPLAYボタン

画像モニターに表示される情報を切り替えます。（p.92）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.93、p.95）
フォルダ表示時は、9画面表示に変わります。（p.94）
カレンダー表示時は、1画面表示に変わります。（p.94）

⑧ グリーン/🗑ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します。（p.102）
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。（p.103）
フォルダ表示時は、カレンダー表示画面に移行します。（p.94）
カレンダー表示時は、フォルダ表示画面に移行します。（p.94）
16連写で撮影した画像の動画再生時は、一時停止中に押すと1コマ保存します。(p.100)

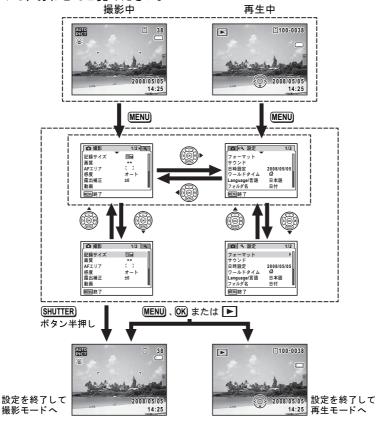
⑨ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します。（p.47）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.52）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.93、p.95）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.94）
カレンダー表示時は、9画面表示に変わります。（p.94）

メニューを使う

MENUボタンを押すと、画像モニターにメニューが表示されます。
撮影モードのときは「◘撮影」メニューが表示され、再生モードのときは「🔧設定」メニューが表示されます。

メニューの選びかた

「◘撮影」メニューと「🔧設定」メニューは、次のように操作します。
メニュー操作中は、画面の下部に「ボタン操作ガイド」も表示されるので、あわせてご覧ください。

メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が画像モニターにガイド表示されます。

例）「📷撮影」メニューの「画質」の設定をする

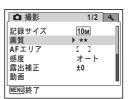
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を押す

選択枠が「記録サイズ」に移動します。

3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

4 十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップメニューで表示されます。
ポップアップメニューには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定の保存方法、変更の取り消し方法については、次のページをご覧ください。

3 操作の基本

設定を保存して撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6　▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6　OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6　MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENU ボタンの機能は、画面によって異なります。画面下部に表示される「ボタン操作ガイド」を参照してください。

MENU 終了：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。

MENU ⮌：現在の設定のまま、手順3の画面に戻ります。

MENU 取消：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

3 操作の基本

メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」(p.150)をご覧ください。

「撮影」メニュー

項目		内容	参照
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.66
画質		静止画像の画質を選びます。	p.68
AFエリア		オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。	p.74
感度		ISO感度を設定します。	p.77
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.79
動画	記録サイズ	動画の記録サイズを選びます。	p.89
	フレームレート	フレームレート(1秒間に撮る画面数)を設定します。	p.90
	Movie SR	手ぶれ補正を使うか使わないかを設定します。	p.90
デジタルズーム		デジタルズームを使うか使わないかを設定します。	p.71
モードメモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。	p.85
日付写し込み		撮影した画像に撮影日・撮影時刻を写し込むかを設定します。	p.84

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードをフォーマットします。	p.133
サウンド	音量、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.134
日時設定	日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。	p.136
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.138
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.140
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。	p.141
USB接続	USB／AVケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。	p.143
ビデオ出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。	p.144
LCDの明るさ	画像モニターの明るさを設定します。	p.145
エコモード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.146
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.147
リセット	日時、言語、ワールドタイム、ビデオ出力以外の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	p.148

モードパレットを使う

十字キー（▼）を押すと、画像モニターにモードパレットが表示されます。モードパレットには「撮影モードパレット」と「再生モードパレット」があります。
アイコンを選ぶだけで、シーンに合った撮影モードに切り替えたり、撮った画像の編集ができます。

モードの選びかた

アイコンを選ぶと、そのモードの説明が画面の下半分に表示されます。また、モードパレット操作中は、「ボタン操作ガイド」が画面の最下列に表示されます。あわせてご覧ください。

1　十字キー（▼）を押す

撮影モードでは「撮影モードパレット」、再生モードでは「再生モードパレット」が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で使用したいモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

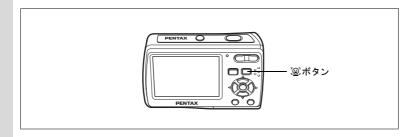
各モードの画面が表示されます。

モード一覧

撮影モードパレット

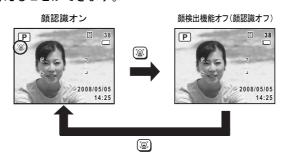
項目		内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャー	適切なシーンを自動的に判断して撮影します。	p.55
P	プログラム	一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影する事もできます。	p.56
	夜景	夜景撮影に最適です。ぶれに注意して三脚等で固定して撮影してください。	p.60
	夜景ポートレート	人物の入った夜景撮影に最適です。ぶれに注意して三脚等で固定し、撮影してください。	p.60

項目		内容	参照
	ベストフレーミング	人物の顔を認識すると最適な大きさで撮影するように、ズーム倍率を自動的に変更します。(3M固定)	p.57
	動画	動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。	p.87
	風景	風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。	–
	花	花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。	
	ポートレート	人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。	p.57
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	–
	スポーツ	動きの速いものを撮影するのに最適です。撮影するまで動くものにピントを合わせ続けます。	
	Digital SR	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用します。	p.61
	キッズ	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。	p.57
	ペット	動き回るペットを撮影するのに最適です。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。	p.59
	料理	料理の撮影に適しています。彩度をやや高めにし、色鮮やかに仕上げます。	–
	パノラマ	撮影した画像をカメラ内でつなぎ合わせてパノラマ写真を作成します。撮影時の記録サイズは、2Mサイズに固定されます。	p.62
	フレーム合成	フレーム付きの画像を撮影します。記録サイズは、3Mサイズに固定されます。	p.64
	ボイスレコーディング	音声を記録するときに設定します。マイクを手で塞がないように注意してください。	p.130

撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「撮影モードごとの使える機能／使えない機能」（p.154）をご確認ください。

顔検出機能を設定する

Optio E60では、（ボイスレコーディング）を除くすべての撮影モードで、「顔検出」機能をご利用いただけます。
顔検出機能は、カメラが自動的に人物の顔の位置を見つけだし、ピント合わせ（顔認識AF）と露出補正（顔認識AE）をして撮影する機能です。人物の顔が複数ある場合も、カメラがメインとなる人物の顔を見つけだし、自動で最適に調整して撮影します。人物の顔をくっきりときれいに撮ることができます。

顔検出機能を切り替える

初期状態では、顔認識機能がオンになっています。カメラ本体のボタンを押すたびに、顔検出機能オフ（顔認識オフ）→顔認識オン・・・と切り替えることができます。

顔検出機能が切り替わるたびに、顔認識機能を示すアイコンが画像モニターに表示されます（顔検出機能がオフのときには、アイコンは表示されません）。

- （オートピクチャー）、（ポートレート）、（夜景ポートレート）、（キッズ）、（ベストフレーミング）では、顔検出機能をオフにはできません。
- 、、、（動画）、（グリーン）を選択すると、自動的に顔検出機能がオンになります。これらの撮影モードから他の撮影モードに移行すると、元の顔検出機能設定に戻ります。
- 顔検出機能を利用した再生については、p.96をご覧ください。

再生モードパレット

項目		内容	参照
	スライドショウ	撮影した画像を連続で再生します。切替りの画面効果や効果音の設定もできます。	p.98
	リサイズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを小さくします。	p.109
	トリミング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに変更します。新規保存されます。	p.111
	画像/音声コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。	p.112
	画像回転	撮影した画像を回転させます。縦位置写真をTV等で見る際に便利です。	p.37
	デジタルフィルタ	撮影した画像に色フィルターをかけて仕上げます。	p.114
	明るさフィルタ	撮影した画像全体の明るさを変更します。	p.115
	フレーム合成	撮影した画像にフレームを付けて保存します。上書きまたは新規保存が選べます。	p.117
	赤目補正	赤目になった画像を修正します。元画像の状態によっては正しく補正できない場合があります。	p.121
	プロテクト	消したくない画像および音声を保護します。フォーマットを行った場合は、消去されます。	p.107
DPOF	DPOF	撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリントする際に便利です。	p.122
	削除画像復活	誤って削除してしまった画像および音声を元通りに復元します。	p.106

撮影モードを選んで撮る

シャッターボタン

グリーンボタン

で使えます

簡単撮影モードで気軽に（グリーンモード）

グリーンボタンを押すだけで、いつでも手軽に撮影が楽しめます。

1　撮影モードでグリーンボタンを押す

（グリーン）に切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、に入る前の撮影モードに戻ります。

2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3　シャッターボタンを全押しする

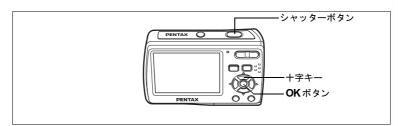
撮影されます。

では、**OK/DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。

- では、（連続撮影）と（16連写）はできません。
- 撮影できる枚数が残り10枚以下になると、撮影可能枚数が赤で表示されます。
- 撮影モードをにしたまま電源をオフにすると、次回もで起動します。
- 撮影モードがの場合、「設定」メニューの操作は可能ですが、「撮影」メニューの設定はできません。

※（グリーン）での設定値は、以下のとおりです。

ストロボモード	（オート）※1
ドライブモード	□（標準）※2
フォーカスモード	AF（標準）※3
情報表示	標準
記録サイズ	10M
画質	★★（ファイン）
AFエリア	［　］（マルチ）
感度	オート
露出補正	±0.0
デジタルズーム	☑（オン）
日付写し込み	オフ
ボタン	顔認識オン

※1 （発光禁止）に設定可能
※2 （10秒セルフタイマー）、（2秒セルフタイマー）に設定可能（以外の撮影モードで設定した方が使用可能）
※3 （マクロ）、PF（パンフォーカス）に設定可能

AUTO PICT で使えます

カメラに撮影モード選びをまかせて（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャー）では、シャッターを押すだけで、カメラが☺（標準）、夜景（夜景）、風景（風景）、ポートレート（ポートレート）、夜景ポートレート（夜景ポートレート）、スポーツ（スポーツ）、花（花）モードの中から、撮りたいシーンに最も合った撮影モードを選びます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャー）を選ぶ

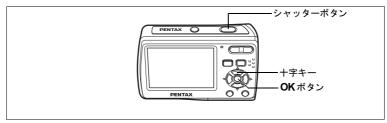
3 OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。選択された撮影モードが画像モニター左上に表示されます。

5 シャッターボタンを全押しする

- AUTO PICT では、露出補正は±0.0に固定されます。（p.79）
- 初期設定では、撮影モードは AUTO PICT に設定されています。

P で使えます

カメラに設定をまかせて（プログラムモード）

P（プログラム）では、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、P を選ぶ

3 OK ボタンを押す

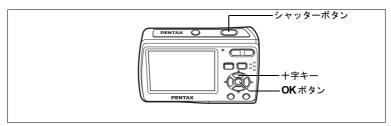
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4 必要に応じて使用する機能を設定する

5 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

で使えます

人物を撮影する（ベストフレーミング／ポートレート／キッズ モード）

（ベストフレーミング）、（ポートレート）、（キッズ）は、人物を撮影するのに適しています。またいずれの撮影モードも、顔検出機能（p.50）が自動的にオンになりますので、被写体の顔を主体にした写真を簡単に撮ることができます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、、、またはを選ぶ

ここではを選んだ場合で説明します。

3 OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。
人物の顔を認識すると、画像モニター内の顔の位置に黄色のかぎカッコの付いたフォーカスフレームが表示されます。
人物が2人以上いる場合は、まずメインとなる顔を認識し、その顔の位置に黄色のかぎカッコの付いたフォーカスフレームが、それ以外の顔の位置には白色のフォーカスフレームが表示されます。
人物が動くとフォーカスフレームが顔の位置を追尾し、フレームの大きさ、位置が変化します。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。人物が2人以上いる場合は、手順3で表示されたかぎカッコの付いたフォーカスフレーム内にピントが合うと、緑色に変わります。

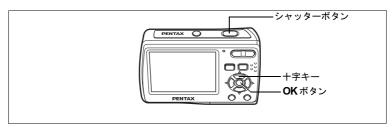
5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

人物の顔が正面を向いていなかったり、サングラスなどで顔の一部がさえぎられていると、顔認識機能が働かないことがあります。

- カメラが人物の顔を認識しない場合は、「撮影」メニューの「AFエリア」で設定しているAFエリアでピントを合わせます。
- 人物が2人以上いる場合は、カメラは画像モニターの中央に近く、他の人物の顔と比べて大きく写っている顔をメインとなる顔として認識します。
- ・・では、顔認識がオンに固定されます。
- は記録サイズが3Mに固定されます。
- では、人物の顔を認識すると必要に応じて自動的にインテリジェントズームが働き、人物の大きさが最適になるよう調節します。
- は、メインとして認識した顔に対して大きさを調整します。

🐕🐕🐕🐈🐈🐈で使えます

ペットを撮影する（ペットモード）

🐕（ペット）では、ペットの毛色によって白色、黒色、中間色のアイコンを選び、毛色を活かして撮ることができます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で🐕を選ぶ

3　OKボタンを押す

ペットモードの選択画面が表示されます。現在選択しているペットモードのままで撮影したい場合は、MENUボタンを押し手順6へ進んでください。

4　十字キー（▲▼）で🐕🐕🐕🐈🐈🐈を選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

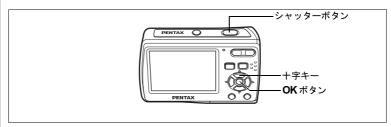
5　OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

で使えます

暗いシーンを撮影する（夜景／夜景ポートレートモード）

（夜景）と（夜景ポートレート）では、夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、、またはを選ぶ

3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

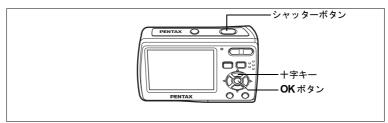
撮影されます。

注意

とでは、（連続撮影）と（16連写）は使用できません。

メモ

暗いシーンの撮影ではシャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。手ぶれを防ぐため、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。（p.81）

4 撮影する

((ᴀ)) で使えます

手ぶれや被写体ぶれをおさえて撮影する（Digital SRモード）

((ᴀ))（Digital SR）では、他のモードより高いISO感度に調整されるので、ぶれをおさえて撮影することができます。手ぶれや被写体ぶれが起きやすい撮影シーンでお使いください。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、((ᴀ))を選ぶ

3　OKボタンを押す

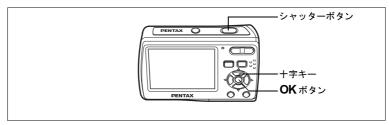
撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 暗いシーンでの撮影ではシャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.81）
- ISO感度は、ISO100～6400の間で自動調整されます。（p.77）シャッタースピードと絞り値も、自動設定されます。
- ((ᴀ))では、記録サイズは 5M （2592 × 1944）に固定されます。

□□□ で使えます

パノラマ写真を撮影する（パノラマモード）

□□□ (パノラマ)では、撮影した2枚または3枚の写真をつなぎ合わせて、横長のパノラマ写真を作成できます。

4 撮影する

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で□□□を選び、OK ボタンを押す。

撮影方向を指定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でつなげる方向を選ぶ

十字キー（▶）: 画像を右につなぐ
十字キー（◀）: 画像を左につなぐ
1枚目を撮影できる状態になります。ここでは、（▶）を選んだ場合で説明します。

4　1枚目の画像を撮影する

シャッターボタンを全押しすると1枚目の画像が撮影されます。撮影した画像が画像モニターにクイックビュー表示されたあと、2枚目を撮影できる状態になります。
2枚目の撮影画像では、1枚目の画像の右端1/4が、画像モニターの左端に半透明に表示されています。

画面左上の1□□は、次に何枚目を撮影するかを表します。

5 カメラを右へ移動し2枚目の画像を撮影する

半透明の画像と実際の画像が重なる位置にカメラを移動し、シャッターボタンを全押しすると2枚目の画像が撮影されます。2枚目の画像がクイックビュー表示されたあと、3枚目を撮影できる状態になります。
3枚目の画像も手順4、5を繰り返して撮影します。3枚目の撮影が終了すると、「処理中です」のメッセージが点滅したあと、完成したパノラマ写真がクイックビュー表示され、1枚目の画像を撮影する画面に戻ります。
2枚の写真でパノラマ写真を作るときは、手順6へ進んでください。手順7で「保存」を選ぶとパノラマ写真が完成します。

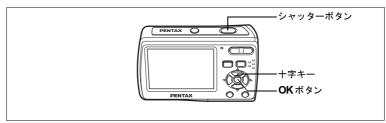
パノラマ撮影を途中で終えたいとき

6 OKボタンを押す

「この画像を保存して終了しますか?」というメッセージの画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「保存」、「破棄」、「キャンセル」のいずれかを選び、OKボタンを押す

「保存」 : 1枚目の画像を撮影後に選択した時は、撮影済みの画像を保存して、1枚目を撮影する画面に戻ります。
2枚目の画像を撮影後に選択した時は、「処理中です」のメッセージが点滅したあと、2枚の画像を合成してできあがったパノラマ写真がクイックビュー表示され、1枚目を撮影する画面に戻ります。
「破棄」 : それまでの撮影結果をすべて取り消して、1枚目を撮影する画面に戻ります。
「キャンセル」: 作業を中止して、直前の撮影画面に戻ります。

- 顔検出機能（p.50）がオンの場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。
- フォーカス、露出、ドライブモード、ズーム位置の設定は、1枚目の値のまま、2枚目と3枚目が撮影されます。

で使えます

フレームつきの写真を撮影する（フレーム合成モード）

（フレーム合成）では、カメラに保存されているフレームからお好きなものを選び、画像モニターに表示しながら撮影することができます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）でを選ぶ

3 OKボタンを押す

選べるフレームが9画面表示されます。
（工場出荷時に、総数20のフレームを登録しています）

4 十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

5 OKボタンを押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。
十字キー（◀▶）：別のフレームに切り替える
MENUボタンまたはズームボタン（）
：選べるフレームの9画面表示に戻る

6 OKボタンを押す

フレーム付きの撮影画面が表示されます。

7 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

8 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

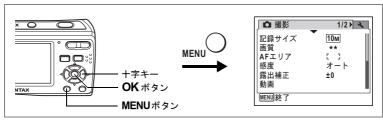
⊡では、⧉（連続撮影）と⧉（16連写）は使用できません。

メモ

- ⊡撮影の記録サイズは3Mに、画質は★★に固定されます。
- 工場出荷時に、デフォルトフレーム3種類、オプションフレーム17種類が入っています。（付属のCD-ROMには、デフォルトフレームを含む80種類のフレームが収録されています）

オプションのフレーム画像について

E60の内蔵メモリには、画像・動画・音声の記録領域を利用して、オプションのフレームが収録されています。
このオプションフレームは内蔵メモリをパソコンでファイル操作（削除など）をすると消すことができますので、万一、オプションフレームを消してしまった場合には、119ページの要領で付属のCD-ROMから復元できます。

AUTO PICT P で使えます

記録サイズを選ぶ

静止画像の記録サイズ（記録画素数）を7種類から選べます。
記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真のきれいさには画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、3M（2048 × 1536）程度が目安となります。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。ただし、画像の容量は画質の設定（p.68）によっても異なります。

記録サイズ

記録サイズ		用途
10M 3648×2736	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など
7M 3072×2304		
5M 2592×1944		
3M 2048×1536		はがきサイズプリントなど
16:9 1920 × 1080		ハイビジョンTVと同じアスペクト比による、自然な広がり感の表現など
1024 1024×768		
640 640×480		ホームページ掲載、電子メール添付など

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能枚数が画面に表示されます。

撮影可能枚数 38
記録サイズ
画質
AFエリア
感度
露出補正
動画
10M
7M
5M
3M
16:9
1024
640
MENU 取消
OK 決定

5 OKボタンを押す

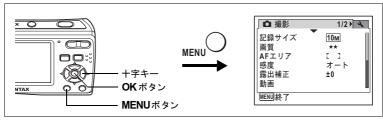
記録サイズの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 撮影モードが（ベストフレーミング）のときは、3M に固定されます。
- 撮影モードが（パノラマ）のときは、2M に固定されます。
- 撮影モードが（フレーム合成）のときは、3M に固定されます。
- 撮影モードが（Digital SR）のときは、5M に固定されます。
- 撮影モードが（動画）のときは、撮影メニューの「動画」で設定した「記録サイズ」で撮影されます。（p.89）

撮影枚数と時間（静止画）☞p.160

で使えます

画質を選ぶ

用途に合わせて、静止画の画質（圧縮率）を選びます。
★の数が多いほど圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、画像データのサイズも増えます。データサイズは選んだ記録サイズによっても異なります。(p.66)

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

撮影可能枚数 38
記録サイズ 10M
画質 ★★★ ★★ ★
AFエリア
感度
露出補正 ±0
動画
MENU 取消 OK 決定

4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

画質を切り替えると、その画質での撮影可能枚数が画面に表示されます。

5 OKボタンを押す

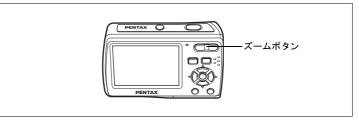
画質の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影モードが（フレーム合成）のときは、画質は★★に固定されます。

撮影枚数と時間（静止画）☞p.160

で使えます

構図を決める（ズーム）

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

望遠：被写体を拡大して写す
広角：被写体を広い範囲で写す
ズームボタンの を押し続けると、自動的に光学ズーム、インテリジェントズームに切り替わり、デジタルズームの切り替わり点で止まります。
いったんズームボタンから手を離して、もう一度 を押すとデジタルズームになります。

ズームバーは、次のように表示されます。

高画質のままズームします。　画質はやや低下します。

光学ズーム域 *1　インテリジェント ズーム域 *2　デジタルズーム域

*1 光学3倍までズームできます。
*2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

インテリジェントズーム域とデジタルズーム域はズームバーの上にアイコンで表示されます。
：インテリジェントズーム域
：デジタルズーム域

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム	デジタルズーム
10M	使えません（光学3倍のみ）	約17.1倍相当
7M	約3.6倍	
5M	約4.2倍	
3M	約5.3倍	
16:9	約5.3倍	
2M	約6.8倍	
1024	約10.7倍	
640	約17.1倍（デジタルズームと同じ）	

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。
- 次の場合、インテリジェントズームは使えません。
  - 記録サイズが10Mのとき（光学3倍ズームは使えます。）
  - （動画）時
  - （Digital SR）時
  - 感度を3200または6400に設定しているとき
- インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、画像モニターの画像があらく見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- では、デジタルズームのみ使えます。
- 2Mは（パノラマ）専用です。
- （ベストフレーミング）時は、カメラが人物の顔を認識すると、インテリジェントズーム域内で自動的にズーミングが行われます。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

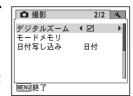
「📷撮影」メニューが表示されます。

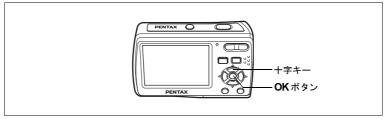
2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

選んだ設定が保存されます。

4　MENUボタンを押す

設定を終了して、撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.85

で使えます

ピントの合わせかたを選ぶ（フォーカスモード）

撮りたいものとカメラの距離に合わせて、フォーカスモードを選びます。

フォーカスモード

AF	標準	撮りたいものとカメラの距離が、約50cm以上のときに選びます。シャッターボタン半押し時に、フォーカスフレーム内にあるものに自動でピントが合います。
	マクロ	撮りたいものとカメラの距離が、約10cm～約60cmのときに選びます。シャッターボタン半押し時に、フォーカスフレーム内にあるものに自動でピントが合います
	無限遠	遠くのものを撮るときに選びます。 ストロボは（発光禁止）になります。
PF	パンフォーカス	広い範囲にピントが合います。 他の人に撮ってもらうときや、車窓から風景を撮るときなどに選びます。

1　撮影モードで十字キー（▶）を押す

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。（十字キー（▲▼）を押して切り替えることもできます。）

2　OKボタンを押す

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。

（動画）でAFまたはを選んだ場合、撮影中にピント調整できません。ピントを合わせてから撮影を始めてください。

4 撮影する

- フォーカスモードが**AF**（標準）のとき、オートマクロ機能が働きます。被写体までの距離が約50cm以下の場合には、自動的に🌷（マクロ）モード域までピント合わせが可能になります。
- ▭（グリーン）では、**AF**と🌷、**PF**のみ選択できます。

フォーカスモードを保存する ☞p.85

フォーカスロック

自動でピントが合いにくいときは、「フォーカスロック」をして撮ることもできます。

次のようなものには、ピントが合いにくいことがあります。
- 極端にコントラストが低いもの（青空や白壁）
- 光が反射しにくいもの（暗い場所や真っ黒なもの）
- 強い反射光、極端な逆光
- 細かい模様
- 高速で動いているもの
- カメラから遠いものと近いものが、同時に画面に存在しているとき

1　ピントを合わせたいものと同じ距離にある、他の被写体を探す

2　その被写体にピントを合わせる

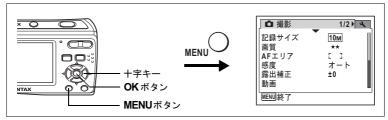
フォーカスフレーム内に、その被写体が入るようにします。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に変わります。

4　半押しのままカメラの向きを変え、撮りたい構図にする

構図を変えても、手順３の位置にピントは固定されたまま（フォーカスロック）です。

5　シャッターボタンを全押しする

で使えます

自動でピントが合う範囲を選ぶ（AFエリア）

自動でピントが合う範囲を変えることができます。

AFエリア

[ ]	マルチ	標準的な範囲で、自動ピント合わせをします。
[ ]	スポット	狭い範囲で、自動ピント合わせをします。
	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

撮影 1/2
記録サイズ 10M
画質 ★★
AFエリア
感度
露出補正
動画
MENU 取消　OK 決定

4 十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

5 OKボタンを押す

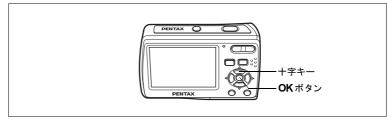
AFエリアの設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

（動画）では、「自動追尾」は選べません。

（オートピクチャー）,（グリーン）では、AFエリアは「マルチ」に固定されます。

で使えます

ストロボを使いこなす（ストロボモード）

ストロボモード

⚡A	オート	暗いときや逆光のとき、自動的にストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが（動画）、ドライブモードが（連続撮影）または（16連写）、フォーカスモードが▲（無限遠）に設定されているときは、常に⊘になります。
- 👁Aまたは👁⚡が表示されていると、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- （グリーン）では、⚡Aと⊘のみ選択できます。

1 撮影モードで十字キー（◀）を押す

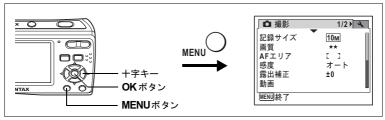
押すたびにストロボモードが切り替わります。（十字キー（▲▼）でも切り替えられます）

2 OKボタンを押す

選択したストロボモードで撮影ができる状態になります。

「赤目」現象を防ぐには
ストロボを使って撮影すると、ストロボ光が被写体の網膜に反射して、目が赤く写ることがあります。これを防ぐために、次の方法をお試しください。
- 被写体の周りを明るくする。
- 撮影距離を近くして広角側で撮影する。
- ストロボモードを（オート+赤目）や（強制+赤目）にする。

（赤目補正）機能を使って、赤目になった写真を後から修正することもできます。（p.121）

で使えます

ISO感度を決める

撮影する場所の明るさに応じて、ISO感度を設定することができます。

ISO感度

オート	ISO 100～800までの間で自動調整されます。（(Digital SR) では ISO 100～6400までの間で自動調整されます。）
100	• ISO感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッタースピードが遅くなります。 • ISO感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッタースピードを早くできます。画像にはノイズが増えます。
200	
400	
800	
1600	
3200	
6400	

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）でISO感度を選ぶ

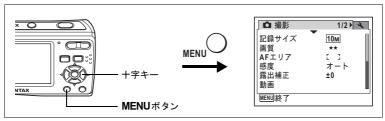
5 OKボタンを押す

ISO感度の設定が保存されます。

6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 感度を3200または6400に設定すると、記録サイズは5M に固定されます。
- 撮影モードが（動画）に設定されているときは、「オート」のみになります。
- では、オート（ISO100～6400）に固定されます。
- （16連写）では、ISO200に固定されます。

ISO感度を保存する ☞p.85

P で使えます

画像の明るさを変える（露出の調整）

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）を押して、補正量を選ぶ

選んだ補正量で保存されます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 MENUボタンを押す

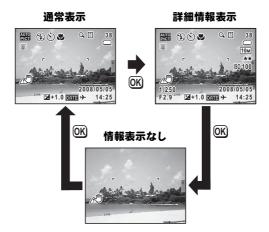
設定を終了して、撮影できる状態になります。

メモ

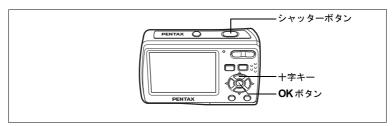
（グリーン）と AUTO PICT（オートピクチャー）では、露出補正は±0.0に固定されます。

露出補正値を保存する ☞p.85

撮影情報を見る

撮影モードで**OK**/**DISPLAY**ボタンを押すと、撮影情報の表示スタイルを、次のように切り替えることができます。表示の意味について詳しくは、p.14をご覧ください。

- □□□（パノラマ）では、1枚目の撮影画面にのみ、撮影情報が表示されます。2枚目以降の撮影画面には表示されません。
- 🎤（ボイスレコーディング）では、表示スタイルを切り替えることはできません。

- 手ぶれしやすい条件のとき、シャッターボタンを半押しすると、⚠✋が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。(p.81)
- ▢（グリーン）では、**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して表示を切り替えることはできません。

で使えます

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚などに固定してください。

セルフタイマー	撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。 シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。
2秒セルフタイマー	シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶▼）を押して、セルフタイマー または2秒セルフタイマーを選び、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

3　シャッターボタンを半押しする

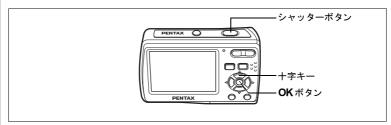
ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

10秒後または2秒後に撮影されます。

- 静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- 2秒セルフタイマーは（グリーン）の初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで2秒セルフタイマーを選んでからに切り替えると、選べるようになります。

- （動画）では、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。

4 撮影する

で使えます

連続して撮影する

何枚もの静止画を連続して撮影することができます。

	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。
	16連写	シャッターボタンを1回押すと、2秒間に16枚の静止画を連続で撮影します。1コマの記録サイズは640に固定されます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）でまたはを選び、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

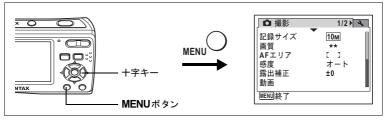
4　シャッターボタンを全押しする

「連続撮影」の場合：シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。

「16連写」の場合：シャッターボタンを1回押すと、2秒間に16枚の静止画を連写します。

- 連続撮影と16連写では、ストロボは発光しません。
- 、、、、、、、では、16連写はできません。
- では、連続撮影と16連写はできません。

- 連続撮影と16連写では、ピント位置、露出の設定は、1枚目で固定されます。
- 連続撮影では、SD メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで撮影し続けることができます。
- 連続撮影の撮影間隔は、記録サイズと画質の設定により異なります。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。
- 16連写した画像は、16枚の画像が縦4枚×横4枚に並んだ1枚の画像としてプリントされます。
- 16連写した画像は、再生する機器により表示のされかたが違います。
  - このカメラでは、16枚の静止画が連続再生されて、動画のように見えます。16連写した画像は、1コマ保存ができます。再生中にできるその他の操作は動画と同じです。（p.100）
  - パソコンでは、16枚の静止画が縦4枚×横4枚に並んだ1枚の画像として表示されます。
- 顔検出機能（p.50）がオンの場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。

で使えます

画像に撮影日を写し込む

撮影する静止画に、撮影日・撮影時刻を写し込むことができます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「日付写し込み」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

撮影 2/2
デジタルズーム ☑
モードメモリ
日付写し込み ▶日付
MENU 終了

4 十字キー（▲▼）で写し込む内容を選択する

5 OKボタンを押す

6 MENUボタンを押す

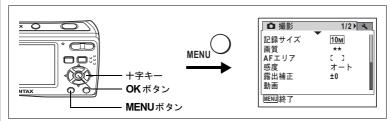
設定した内容で、撮影できる状態になります。

- 日付や時刻は、あとから消去できません。
- 日付や時刻を写し込んだ画像を印刷するとき、プリンターや画像編集ソフトで日付を印刷するように設定していると、日付が二重に印刷されます。重複して指定しないようにご注意ください。

- 日付・時刻は、「日時設定」で設定した表示スタイルで写し込まれます。
- 日付写し込みをオフ以外に設定すると、画面に DATE アイコンが表示されます。
- でパノラマ写真を撮る場合、つなぎ合わせたあとの写真の右下に日付・時刻を写し込みます。

自分の設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

項目	内容	初期設定
顔認識モード	顔認識ボタンで設定した顔検出モード（p.50）	☑
ストロボモード	十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.75）	☑
ドライブモード	十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.81、p.82）	□
フォーカスモード	十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.72）	□
ズーム位置	ズーム/♠♠♠/♠ボタンで設定したズーム位置（p.69）	□
感度	「撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.77）	□
露出補正	「撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.79）	□
デジタルズーム	「撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（p.71）	☑
DISPLAY	**OK**/**DISPLAY** ボタンで設定した画像モニターの情報表示状態（p.80、p.92）	□
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用	☑

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

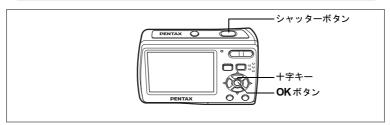
5　十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

6　OKボタンを押す

モードメモリの設定が保存されます。

7　MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画を撮る

🎥 で使えます

動画の撮りかた

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で 🎥（動画）を選ぶ

3 OKボタンを押す

が選択され、撮影できる状態になります。

画像モニターに次の情報が表示されます。

1 動画モードアイコン
2 フォーカスモードアイコン
3 録画中アイコン（手順 4 で撮影が開始されると表示され、録画中に点滅します）
4 撮影時間
5 現在の日時
6 フォーカスフレーム（録画中は表示されません）

ズームボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

：被写体を拡大して写す

：被写体を広い範囲で写す

4 シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱい、または最大で2GBまで連続録画できます。

では、ストロボは発光しません。

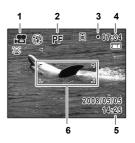
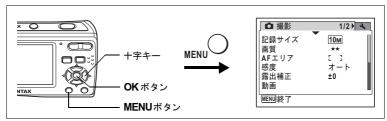
- 撮影開始前は光学ズームとデジタルズームが、撮影中はデジタルズームのみが使用できます。
- **AF**/を選択したときは、撮影開始前にピント調整ができます。
- 動画撮影中も、**OK**/**DISPLAY** ボタンを押して撮影情報を表示させることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影が終了します。

動画を再生する ☞p.100

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

🎥で使えます

動画の撮影条件を決める

動画の「記録サイズ」「フレームレート」を選びます。また、「Movie SR」を使って動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画の撮影条件を選ぶ画面が表示されます。

動画の記録サイズを選ぶ

記録サイズが大きいほど鮮明な画像になりますが、動画データのサイズが増えます。データのサイズは、選んだフレームレートによっても異なります。

動画の記録サイズ

640（640×480）	テレビやパソコンの画面で観る場合に適しています。
320（320×240）	電子メールに添付したり、ホームページに掲載する場合に適しています。

4　十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

6　十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

記録サイズを切り替えると、その記録サイズでの撮影可能時間が画面に表示されます。

4 撮影する

7 OKボタンを押す

記録サイズの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画のフレームレートを選ぶ

「フレームレート」で、動画のなめらかさが決まります。単位はfps（フレーム/秒）で、1秒間に撮る画面数を表します。数値が大きいほどなめらかな動画になりますが、データサイズも増えます。

4 十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

6 十字キー（▲▼）でフレームレートを切り替える

フレームレートを切り替えると、そのフレームレートでの撮影可能時間が画面に表示されます。

7 OKボタンを押す

フレームレートの設定が保存されます。

8 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の手ぶれ補正を設定する（Movie SR）

Movie SR（動画手ぶれ補正機能）を使って動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「動画」画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「Movie SR」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で、☑（オン）／□（オフ）を切り替える

Movie SR（動画手ぶれ補正）の設定が保存されます。

6 MENUボタンを2回押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

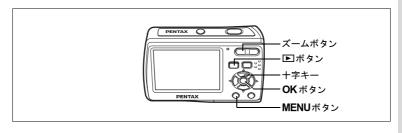
カメラで再生する

静止画の再生のしかた

撮影モードのときに▶ボタンを押すと再生モードに切り替わり、静止画を再生できます。詳しくは、「静止画を再生する」(p.36)をご覧ください。
また、動画の再生については、「動画の再生のしかた」(p.100)をご覧ください。

再生中の画像の撮影情報を見る

再生モードで**OK**/**DISPLAY**ボタンを押すと、再生中の画像の撮影情報を次のように切り替えることができます。表示の意味について詳しくは、p.16をご覧ください。

撮影情報を見る ☞p.80

9画面表示、フォルダ表示、カレンダー表示をする

9画面表示

撮った画像を同時に9枚ずつ画像モニターに表示させることができます。

1 再生モードで、ズームボタンの⊞を押す

画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

選択枠
①
②
選択消去　100-0010

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印：静止画
：動画（1コマ目の画像が表示されます）
：音声ファイル

2 OKボタンを押す

選択した画像の1画面表示になります。
OKボタンのかわりに、**MENU**ボタンまたはズームボタンのQを押しても、1画面表示できます。

フォルダ表示/カレンダー表示に切り替える

9画面表示でズームボタンの⊞を押すと、フォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダ表示とカレンダー表示は、グリーンボタンで切り替えることができます。

1　再生モードで、ズームボタンの⊞を押す

画面が9画面表示に切り替わります。

2　ズームボタンの⊞を押す

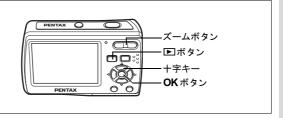
画面がフォルダ表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダ表示

画像や音声が記録されているフォルダが一覧表示されます。
十字キー（▲▼◄►）で選択枠が移動します。
フォルダを選択してズームボタンの🔍かOKボタンを押すと、フォルダ内の先頭画像を選択した9画面表示に切り替わります。

カレンダー表示

撮影した画像や録音した音声が、日付ごとにカレンダー形式で表示されます。
カレンダーの日付には、各日付で撮影された最初の画像が表示されます。
その日付で最初に記録されているのが音声データならば、🎙が表示されます。
十字キー（▲▼◄►）で選択枠が移動します。
日付を選択してズームボタンの🔍を押すと、その日付の先頭画像を選択した9画面表示に切り替わります。
日付を選択してOKボタンを押すと、その日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。

- フォルダ表示/カレンダー表示で**MENU**ボタンを押すと、通常の9画面表示に切り替わります。
- フォルダ表示/カレンダー表示で▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、撮影モードに切り替わります。

画像を拡大して再生する

画像を再生する際、最大10倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンのQを押す

画面が大きく（1.1倍〜10倍）表示されます。ズームボタンのQを押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

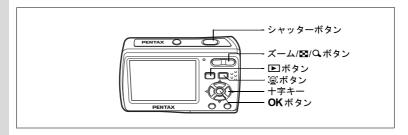
ガイド表示

拡大表示中にできる操作

十字キー（▲▼◀▶）　：拡大位置を移動する
ズームボタン（Q）　：画像を拡大する（最大10倍まで）
ズームボタン（⊞）　：画像を縮小する（最小1.1倍まで）

3 OKボタンを押す

1画面表示に戻ります。

- ⊞（16連写）で撮影した画像および🎥（動画）は、拡大表示できません。
- 画像モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。

被写体の顔を自動的に拡大する（顔アップ再生）

撮影時に顔検出機能が働き、被写体の顔を検出した画像を再生する場合は、☺ボタンを押すだけで、被写体の顔をクローズアップした画像の再生（顔アップ再生）が楽しめます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

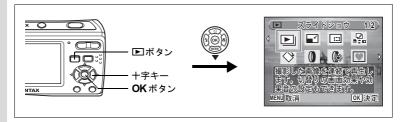
2　画像に☺アイコンが表示されているのを確認し、☺ボタンを押す

メインの顔を中心に、顔アップ再生されます。

撮影時に複数の顔を検出した場合は、☺ボタンを押すたびに、それぞれの被写体の顔を中心にした顔アップ再生が行われます。

3　OKボタンを押す。

1画面表示に戻ります。

- 顔アップ再生時の拡大倍率は、撮影時に検出された顔の大きさなどの条件によって異なります。
- 顔アップ再生中に、ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、顔アップ再生されている被写体を中心に、現在の拡大率と同じかやや大きい倍率での拡大表示に切り替わります。また、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押すと、顔アップ再生されている被写体を中心に、現在の拡大率と同じかやや小さい倍率の拡大表示に切り替わります。

スライドショウを楽しむ

保存された画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

4　OK ボタンを2回押す

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に**OK**ボタンを押すと再開します。

5　OK ボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

動画の再生中に十字キー（▶）を押すと、スライドショウは終了せずに次の画像を表示します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果や効果音を設定します。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ

3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「表示間隔」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

7 十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、引き続き十字キー（▶）を押すと、下記の選択できる内容がポップアップメニューで表示されます。十字キー（▲▼）で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

オフ	切り替え効果なし
ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果

8 十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

9 十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替える

画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

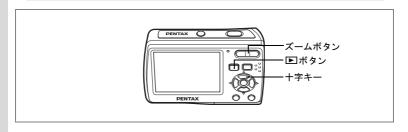
10 OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

🎙（ボイスレコーディング）で録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

- スライドショウは、**OK**ボタン、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押して終了するまで、何度でも繰り返します。
- 動画は、表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中に十字キー（▶）を押すと、次の画像へ移ります。
- パノラマ写真は、表示間隔の設定にかかわらず、5秒間スクロール再生されます。

テレビなどで再生する ☞p.101

動画を再生する

動画の再生のしかた

動画を再生します。音声も同時に再生されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が始まります。
再生の途中で十字キー（▲）を押すと、一時停止します。

再生中にできる操作

十字キー（◀）	：逆方向に再生
十字キー（▲）	：一時停止
ズームボタン（♠）	：音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）	：音量を小さくする

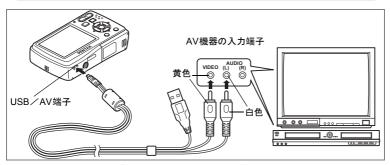
一時停止中にできる操作

十字キー（◀）	：コマ戻しする
十字キー（▶）	：コマ送りする
十字キー（▲）	：一時停止を解除（再生）
グリーンボタン	：1コマ保存(16連写で撮影した画像の場合)

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

- 16（16連写）で撮影した画像も、動画と同じ操作で再生できます。
- 16で撮影した画像の1コマ保存では、表示しているコマの静止画が、640×480の記録サイズで新規保存されます。

テレビなどで再生する

付属のUSB/AVケーブルで、カメラをテレビなどのAV機器に接続すれば、AV機器のモニターに画像を映しながら撮影したり、再生ができます。ケーブルを接続する前に、必ずカメラとAV機器の電源をオフにしてください。

1 カメラのUSB/AV端子に、付属のUSB/AVケーブルを接続する

2 USB/AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白色）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

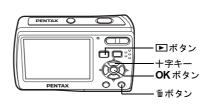
ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

4 カメラの電源をオンにする

- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.144）
- AV 機器に接続している間は、カメラの画像モニターはオフになります。また、カメラのズームボタンで音量調整できません。

長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）の使用をおすすめします。（p.21）

画像や音声を消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

うっかり！必要な画像や音声を消してしまったら・・・
Optio E60には、このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、復活させる機能があります。（p.106）
画像や音声を消去した後、SDメモリーカードを取り出したり電源をオフにしていなければ、復活させることは可能ですが、撮影、画像プロテクト、DPOF設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしてしまうと、消去した画像や音声は復活できません。

1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.107）

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ

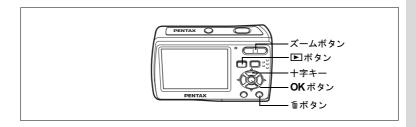
2　🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

消去されます。

消去した画像を復活する ☞p.106

9画面表示して消去する

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。

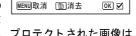
1　再生モードで、ズームボタンの⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2　🗑ボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

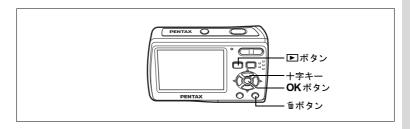
3　十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OK ボタンを押す

画像が選択され、☑が表示されます。
ズームボタンのQを押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6 OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.107）

1　再生モードで🗑ボタンを2回押す

すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「全画像/音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

すべての画像や音声が消去されます。

消去した画像を復活する （p.106）

消去した画像を復活する

このカメラで撮影した画像、または録音した音声であれば、いったん消去してしまっても元に戻すことができます。

画像を消去後、撮影、画像プロテクト、DPOF設定、リサイズ、トリミングなどのデータ書き込み操作をしたり、SDメモリーカードを取り出したりカメラの電源をオフにしてしまうと、手順3で「処理できる画像がありません」のメッセージが表示され、消去した画像や音声の復活ができなくなってしまいます。

1 消去を実行した後に、十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（削除画像復活）を選ぶ

3 OKボタンを押す

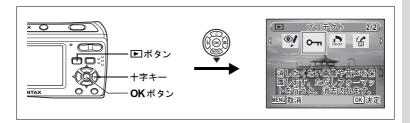
復活可能な画像の枚数が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「復活」を選ぶ

5 OKボタンを押す

画像の消去が取り消され、元に戻ります。

復活させた画像や音声は、消去する前と同じファイル名になります。

5 再生する・消去する

大切な画像を消さないために（プロテクト）

記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1 再生モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で O‑π（プロテクト）を選ぶ

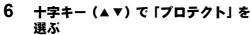
3 OKボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ

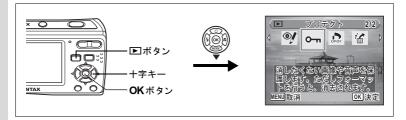
5 OKボタンを押す

「この画像/音声にプロテクト設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像または音声をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像または音声を選びます。

6 十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7 OKボタンを押す

選択した画像または音声がプロテクトされます。

メモ
- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下に O‑π が表示されます。

5 再生する・消去する

すべての画像と音声をプロテクトするには

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で o¬（プロテクト）を選ぶ

3　OKボタンを押す

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で「全画像/音声」を選ぶ

5　OKボタンを押す

「プロテクト」または「解除」を選択する画面が表示されます。

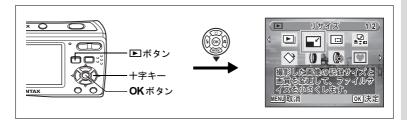
6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

7　OKボタンを押す

すべての画像と音声がプロテクトされます。

注意　SDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。

メモ　手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

撮った画像を編集する

画像のサイズと画質を変える（リサイズ）

撮った画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。
SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。

注意
- 記録サイズが16:9、（パノラマ）や（16連写）で撮影した画像、動画は、リサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。

5 「記録サイズ」と「画質」を選択する

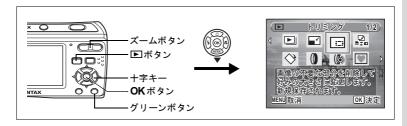
それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。
「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングしたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ⬚（トリミング）を選ぶ

4　OKボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。

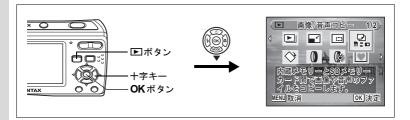
5　トリミングする範囲を指定する

ズームボタン	: トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	: トリミング範囲を移動する
グリーンボタン	: トリミング範囲を回転する

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

注意　記録サイズが16:9、□□□（パノラマ）、⑯（16連写）で撮影した画像、🎥（動画）は、トリミングできません。

6 画像編集する・印刷する

画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

注意 SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

4　十字キー(▲▼)を押して「➡SD」を選ぶ

5　OKボタンを押す

すべての画像と音声がコピーされます。

6 画像編集する・印刷する

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SD メモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

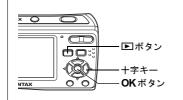
4 十字キー(▲▼)を押して「SD➡内蔵メモリー」を選ぶ

5 OKボタンを押す

6 十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

7 OKボタンを押す

選択した画像／音声がコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。

画像の色調などを変える（デジタルフィルタ）

デジタルフィルタを使うと、パソコンを使わなくても、撮った画像の色調などを変えることができます。白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄の8種類のフィルタで、センスを活かしたアレンジが楽しめます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2 十字キー（▼）を押す

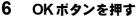
再生モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で （デジタルフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

デジタルフィルタを選ぶ画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）で使用するデジタルフィルタを選ぶ

切り替えるたびに、そのフィルタで加工した結果が画像モニターに表示されるので、確認しながら選びます。

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

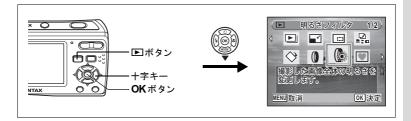
画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8 OKボタンを押す

デジタルフィルタで加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

注意

デジタルフィルタで加工できるのは、このカメラで撮った静止画のみです。（パノラマ）、（動画）で撮影した画像は加工できません。

6 画像編集する・印刷する

画像の明るさを変える（明るさフィルタ）

明るさフィルタを使うと、パソコンを使わずに、撮った画像の明るさを変えることができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で （明るさフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

明るさを調整するバーが画面の中央下に表示されます。

5　十字キー（◀▶）で明るさを調整する

十字キー（◀▶）を押すたびに、画像モニターに表示中の画像の明るさも変わるので、確認しながら選びます。

6　OKボタンを押す

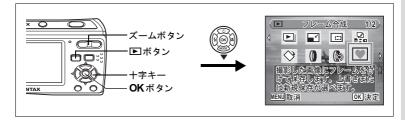
上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

8　OKボタンを押す

明るさフィルタで加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタで加工できるのは、このカメラで撮った静止画のみです。□□□（パノラマ）、🎥（動画）、他のカメラで撮った静止画は加工できません。

撮った画像にフレームを合成する

撮った静止画に、あとからフレーム（飾り枠）を合成して楽しめます。あらかじめカメラに登録されているフレームのほか、ホームページからダウンロードしたフレームも使えます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でフレーム合成する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4　OKボタンを押す

選べるフレームが9画面表示されます。

5　十字キー（▲▼◀▶）で使用するフレームを選ぶ

6　OKボタンまたはズームボタンの🔍を押す

選んだフレームが1画面表示されます。
フレームは次の方法で選びなおすことができます。

十字キー（◀▶）：別のフレームに切り替える
MENUボタンまたはズームボタン（▦）
：選べるフレームの9画面表示に戻る

7 OKボタンを押す

画像の位置調整、拡大と縮小を行う画面が表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像の位置を調整し、ズームボタンで画像の拡大と縮小をすることができます。

8 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

10 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3M の記録サイズで保存されます。

（パノラマ）、(16連写）で撮影した画像、（動画）、16:9、2M 以下のサイズの画像は、フレーム合成できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

オプションのフレーム画像について

E60の内蔵メモリには、画像・動画・音声の記録領域を利用して、オプションのフレームが収録されています。
このオプションフレームはパソコンで内蔵メモリーをファイル操作（削除など）を行うと消すことができますので、万一、オプションフレームを消してしまった場合には、付属のCD-ROMからコピーできます。

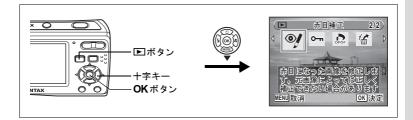
コピー要領：

1. カメラからSDメモリーカードを抜きます。（SDメモリーカードを入れておいた場合は、内蔵メモリーではなく、SDメモリーカードに復元します）
2. PC接続ガイドを参考に、パソコンとカメラをUSB/AVケーブル（I-UAV77）で接続します。
3. カメラが接続されると自動的にデバイス検出の画面が表示された場合は、「キャンセル」してください。
4. 付属のCD-ROM（S-SW81）をパソコンにセットしてください。
5. インストール画面が表示された場合は、「EXIT」ボタンを押して終了してください。
6. カメラ（リムーバブルディスク）のルートディレクトリにFRAMEフォルダが無い場合は、パソコンから作成してください。
7. パソコンでファイル操作を行い、CD-ROM のルートディレクトリにあるFRAMEフォルダ内からコピーしたいファイルをカメラ（リムーバブルディスク）のFRAMEフォルダ内にコピーします。
（パソコンのファイル操作については、お使いのパソコン説明書などをご覧ください）
8. PC接続ガイドを参考にカメラを取り外してください。

＊ CD-ROMには、デフォルトのフレーム（３種類）も含まれていますが、この３種類はカメラ内の書き換えできない領域にあるので、コピーすると重複してしまいます。
＊ コピー先をSDメモリーカードにしたい場合は、手順1.でSDメモリーカードを入れておいてください。
＊ 内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方にフレームを登録可能ですが、数が多くなると処理に時間がかかる場合があります。
＊ 必要なフレームファイルのみをコピーすることもできます。

新しく入手したフレームを使う

弊社のホームページなどから入手したフレームを使って、フレーム合成することもできます。手順3で🖾（フレーム合成）を選び**OK**ボタンを押すと、内蔵メモリーとSDメモリーカードに保存されているフレームが表示されます。

- あらかじめ内蔵メモリー内に登録されている3種類のデフォルトフレームは削除することができません。
- ダウンロードして新しく入手したフレームは、最大979種類まで表示することができますので、内蔵メモリーに登録されているフレームと合わせ、999種類から選択することができます。
- ダウンロードしたフレームは解凍して、SDメモリーカードのFRAMEフォルダにコピーしてください。
- FRAMEフォルダは、SDメモリーカードを本機でフォーマットすると作成されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で赤目補正する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

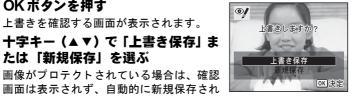
再生モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（赤目補正）を選ぶ

4　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、確認画面は表示されず、自動的に新規保存されます。

6　OKボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画や、カメラが赤目画像と判断できなかった静止画は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。ただし（パノラマ）、（16連写）で撮影した画像は赤目補正できません。

6

画像編集する・印刷する

DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

▶ボタン
十字キー
OKボタン
グリーンボタン

DPOF 2/2
撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリントする際に便利です。
MENU 取消　OK 決定

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付	プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

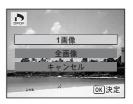
1 再生モードで十字キー（▼）を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で（DPOF）を選ぶ

3 OKボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ

5 OKボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像に DPOF 設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

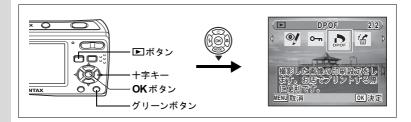
7 グリーンボタンを押し、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6、7を繰り返します。

8 OKボタンを押す

DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。

- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。
- 「日付写し込み」（p.84）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないでください。日付が二重に印刷されてしまいます。

DPOF設定を解除するには、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK** ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

1 再生モードでDPOFの設定をする画面を表示する

p.122の手順1～3をご覧ください。

2 十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ

3 OKボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。

4 プリント枚数、日付を ☑（オン）か □（オフ）に切り替える

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6、7（p.123）をご覧ください。

5 OKボタンを押す

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

- 全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 「日付写し込み」（p.84）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないでください。日付が二重に印刷されてしまいます。

全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSB/AVケーブル（I-UAV77）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC62J（別売）のご使用をおすすめします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USB/AVケーブルを抜かないでください。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

カメラをプリンターに接続する

1　「設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する

「USB接続モードを変更する」（p.143）をご覧ください。

2　カメラの電源をオフにする

3　付属のUSB/AVケーブルでカメラをプリンターに接続する

4　プリンターの電源をオンにする

5　プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする

印刷モードを選択する画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー(▲▼)を押して、「1画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

印刷条件を設定する画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定できます。

5　グリーンボタンで、「日付」を☑（オン）か□（オフ）に切り替える

☑　：プリントに日付を入れる

□　：プリントに日付を入れない

6　OKボタンを押す

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

印刷設定の変更画面が表示されます。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

用紙サイズの選択画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

10 OKボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

11 十字キー（▲▼）で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OKボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。

それぞれの設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。

用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。

印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

各項目の設定が終了するごとに、印刷設定の変更画面が表示されます。

13 MENUボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

14 OKボタンを押す

設定した値で印刷が開始されます。

MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

- プリンターと通信中は電源ランプが点灯、カードアクセス中、プリント中は電源ランプが点滅してお知らせします。電源ランプ点滅中は、USB／AVケーブルを取り外さないでください。
- 「日付写し込み」（p.84）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないでください。日付が二重に印刷されてしまいます。

「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。

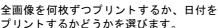
プリンターからケーブルを取り外す ☞p.129

全画像をプリントする

1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

3　プリント枚数、日付プリントの有無を設定する

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.126）をご覧ください。

4　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.126～p.127）をご覧ください。

5　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

「日付写し込み」（p.84）を使用してすでに日付が入っている画像では、DPOF設定をオンにしないでください。日付が二重に印刷されてしまいます。

DPOFの設定でプリントする

1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ

2 OKボタンを押す

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.122をご覧ください。

3 OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.126～p.127）をご覧ください。

4 印刷設定の確認画面でOKボタンを押す

設定した内容でプリントされます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

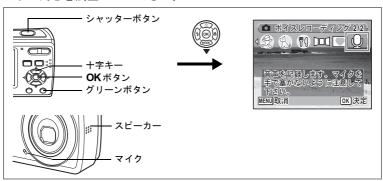
プリンターからケーブルを取り外す

プリントが終了したら、USB/AVケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

1 カメラの電源をオフにする

2 カメラとプリンターからUSB/AVケーブルを取り外す

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。マイクはカメラの正面に向かってレンズの左下にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で🎙（ボイスレコーディング）を選ぶ

3 OKボタンを押す

画像モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

1 録音時間
2 残り録音可能時間

4 シャッターボタンを全押しする

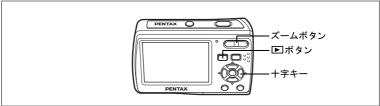
録音が開始されます。録音中は、電源ランプが点滅します。
録音は連続で内蔵メモリーかSD メモリーカードの空き容量いっぱい、または最大24時間まで可能です。
録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

5 シャッターボタンを全押しする

録音を停止します。

- 手順4で1秒以上シャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間録音し、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。

音声を再生する

🎙モードで録音した音声を再生します。

1 ▶ボタンを押す

2 十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

3 十字キー（▲）を押す

録音を再生します。
1 ファイルの総録音時間
2 再生済時間

再生中にできる操作

十字キー（▲）　：再生を一時停止
ズームボタン（♠）　：音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）　：音量を小さくする

インデックスがない場合
十字キー（◀）　：巻き戻し
十字キー（▶）　：早送り

インデックスがある場合
十字キー（◀）　：前のインデックス位置から再生
十字キー（▶）　：次のインデックス位置から再生

一時停止中にできる操作

十字キー（▲）　：再生を再開
十字キー（◀）　：約5秒前に戻る
十字キー（▶）　：約5秒先に送る

4 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

カメラの設定をする

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- 内蔵メモリーはフォーマットすることはできません。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影モードまたは再生モードに戻ります。

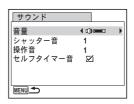
「🔧設定」メニューの呼び出しかた

サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「サウンド」画面が表示されます。

操作音量を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）を押して音量を調節する

選んだ音量が保存されます。
音量を0にするとシャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

音の種類を変更する

5 十字キー（▲▼）を押して「シャッター音」を選ぶ

6 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

7 十字キー(▲▼)で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選び、OKボタンを押す

選んだ音の種類が保存されます。

8 手順5〜7と同様の操作で「操作音」を設定する

セルフタイマー音は、十字キー（◀▶）で☑（オン）か□（オフ）に切り替えます。

9 MENUボタンを押す

変更した設定のまま、「🔧設定」メニューに戻ります。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「日時設定」画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

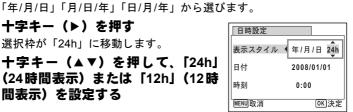
選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」が表示されていることもあります。

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 ▶2008/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

9 十字キー（▶）を押す

手順４で設定した表示スタイルにしたがって、選択枠が下記の項目に移動します。
「年/月/日」の場合　西暦年（例:「2008」年）
「月/日/年」の場合　月（例：「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例：「01」日）
以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

11 十字キー（▶）を押す

選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で、日を設定します。

12 手順7～10と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

13 OKボタンを押す

日時の設定が保存されます。

日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.31)や「日時を変更する」(p.136)で設定した日時は、⌂(現在地)の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用するとき、画像モニターに✈(目的地)として設定した国や地域の日時を表示できます。

目的地を設定する

1 「🔧設定」メニューで、十字キー(▲▼)を押して「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で✈(目的地)を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST OFF
東京 14:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU ↩

4 十字キー(▶)を押す

「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

5 十字キー(◀▶)で、目的地都市名を選ぶ

選択した都市の現在時刻、位置、時差が表示されます。

6 十字キー(▲▼)で「夏時間」を選ぶ

7 十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、☑(オン)にします。

8 設定

8 OKボタンを押す

目的地の設定が保存されます。

9 MENUボタンを2回押す

設定した内容で撮影できる状態になります。

p.138の手順3で⌂（現在地）を選ぶと現在地の都市や夏時間を設定できます。

目的地の日時をカメラに表示させる（時刻切替）

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「時刻切替」を選ぶ

ワールドタイム
時刻切替 ▶ ⌂
✈目的地 DST
ニューヨーク 0:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU ↩

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

5 十字キー（▲▼）で✈（目的地）／⌂（現在地）を切り替える

✈ ：目的地で選択した都市の時刻を表示
⌂：現在地で選択した都市の時刻を表示

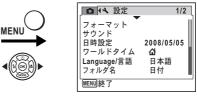
ワールドタイム
時刻切替 ✈ ⌂
✈目的地
ニューヨーク 0:25
⌂現在地 DST OFF
東京 14:25
MENU 取消 OK 決定

6 OKボタンを押す

時刻切替の設定が保存されます。

7 MENUボタンを2回押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。撮影モードに戻ったとき、ワールドタイムに切り替えた場合は、✈（目的地）アイコンが表示されます。

「設定」メニューの呼び出しかた

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／オランダ語／日本語／デンマーク語／スウェーデン語／フィンランド語／ポーランド語／チェコ語／ハンガリー語／トルコ語／ギリシャ語／ロシア語／タイ語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）20言語に対応しています。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「Language/言語」を選ぶ

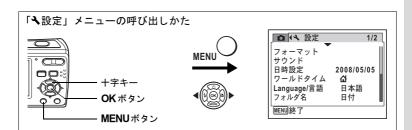
2 十字キー（▶）を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ

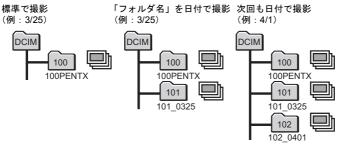
4 OKボタンを押す

選んだ言語で表示するように設定されます。

8
設定

画像のフォルダ名を変更する

撮影した画像や音声が保存されるフォルダ名の付けかたを、「標準」と「日付」から選びます。「日付」を選ぶと、撮影日ごと違うフォルダに保存されます。

フォルダ名

標準	XXXPENTX（XXXは3桁のフォルダ番号）
日付	XXX_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） ※ 日付の表示スタイルが「日／月／年」に設定されている場合は、xxx_ddmm（3桁のフォルダ番号_日月）になります。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォルダ名」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

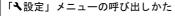
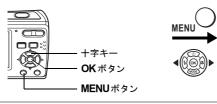
3 十字キー（▲▼）で「標準」か「日付」に切り替える

8 設定

4　OK ボタンを押す

フォルダ名の設定が保存されます。

- フォルダは最大900個作成されます。
- 1つのフォルダには最大9999個の画像や音声が保存可能です。9999を超えると、自動的に次のフォルダが作成されます。

「設定」メニューの呼び出しかた

USB接続モードを変更する

USB/AVケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続を切り替えます。

パソコンとの接続については、別紙の「PC接続ガイド」をご覧ください。

1　「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「PC」か「PictBridge」に切り替える

「PC」　：パソコンに画像を転送する場合に選択

「PictBridge」：PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択

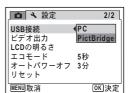
4　OKボタンを押す

USB接続の設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

8

設定

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

ビデオ出力方式を選択する

カメラをテレビなどのAV機器につないで撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

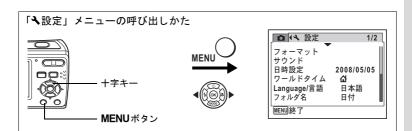
3 十字キー（▲▼）で「NTSC」か「PAL」に切り替える

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。

4 OKボタンを押す

ビデオ出力方式の設定が保存されます。

国や地域によっては、ビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

テレビなどで再生する ☞p.101

画像モニターの明るさを設定する

画像モニターの明るさを調節して、見やすくすることができます。日差しの強い屋外などで、画像モニターが見にくいときにお使いください。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを調整する

（暗）

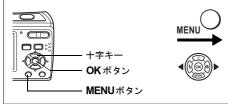
（標準）

（明）

3 MENUボタンを押す

撮影モードまたは再生モードに戻ります。画像モニターは、設定した明るさで表示されます。

8
設定

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなるように設定することで、電池の消耗を軽減します。節電機能が働き、画像モニターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「エコモード」を選ぶ

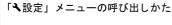
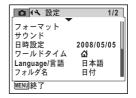
2 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4 OKボタンを押す

エコモードの設定が保存されます。

以下の場合はエコモードになりません。
- メニュー表示中
- 動画撮影中
- 再生中
- プリンター接続中
- メッセージ表示中
- 「5秒」に設定されている場合、電源をオンにしてから何も操作しないと、エコモードになるのは15秒後になります。

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」か「3分」か「オフ」に切り替える

4 OKボタンを押す

オートパワーオフの設定が保存されます。

パソコンやプリンターに接続しているときは、オートパワーオフ機能が作動しません。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

設定をリセットする

カメラの設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。リセットできる項目については「初期設定一覧」(p.150) をご覧ください。

1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「リセット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

「リセット」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)で「リセット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

設定がリセットされます。

「Language/言語」「日時設定」「ワールドタイム」「ビデオ出力」は、リセットされません。

都市名一覧

都市名 :「初期設定」(p.29)やワールドタイム(p.138)で設定できる都市です。
ビデオ出力方式 :「初期設定」で設定した都市のビデオ出力方式です。

地域	都市名	ビデオ出力方式
北米	ホノルル	NTSC
	アンカレジ	NTSC
	バンクーバー	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC
	ロサンゼルス	NTSC
	カルガリー	NTSC
	デンバー	NTSC
	シカゴ	NTSC
	マイアミ	NTSC
	トロント	NTSC
	ニューヨーク	NTSC
	ハリファックス	NTSC
中南米	メキシコシティ	NTSC
	リマ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC
	カラカス	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL
	サンパウロ	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC
ヨーロッパ	リスボン	PAL
	マドリード	PAL
	ロンドン	PAL
	パリ	PAL
	アムステルダム	PAL
	ミラノ	PAL
	ローマ	PAL
	コペンハーゲン	PAL
	ベルリン	PAL
	プラハ	PAL
	ストックホルム	PAL
	ブダペスト	PAL
	ワルシャワ	PAL
	アテネ	PAL
	ヘルシンキ	PAL
	モスクワ	PAL
アフリカ・西アジア	ダカール	PAL
	アルジェ	PAL
	ヨハネスブルグ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力方式
アフリカ・西アジア	イスタンブール	PAL
	カイロ	PAL
	エルサレム	PAL
	ナイロビ	PAL
	ジッダ	PAL
	テヘラン	PAL
	ドバイ	PAL
	カラチ	PAL
	カブール	PAL
	マーレ	PAL
	デリー	PAL
	コロンボ	PAL
	カトマンズ	PAL
	ダッカ	PAL
東アジア	ヤンゴン	NTSC
	バンコク	PAL
	クアラルンプール	PAL
	ビエンチャン	PAL
	シンガポール	PAL
	プノンペン	PAL
	ホーチミン	PAL
	ジャカルタ	PAL
	香港	PAL
	北京	PAL
	上海	PAL
	マニラ	NTSC
	台北	NTSC
	ソウル	NTSC
	東京	NTSC
	グアム	NTSC
オセアニア	パース	PAL
	アデレード	PAL
	シドニー	PAL
	ヌーメア	PAL
	ウェリントン	PAL
	オークランド	PAL
	パゴパゴ	NTSC

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」（p.85）の設定による。
ー　　：該当なし。

リセット設定

する　：リセット（p.148）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		10M (3648×2736)	する	する	p.66
画質		★★（ファイン）	する	する	p.68
AFエリア		[ ]（マルチ）	する	する	p.74
感度		オート	※	する	p.77
露出補正		±0.0	※	する	p.79
動画	記録サイズ	640（640×480）	する	する	p.89
	フレームレート	30fps	する	する	p.90
	Movie SR	□（オフ）	する	する	p.90
デジタルズーム		☑（オン）	※	する	p.71

名称		初期設定	ラスト メモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	顔認識モード	☑（オン）	する	する	p.50
	ストロボモード	☑（オン）	する	する	p.75
	ドライブモード	□（オフ）	する	する	p.81、p.82
	フォーカスモード	□（オフ）	する	する	p.72
	ズーム位置	□（オフ）	する	する	p.69
	感度	□（オフ）	する	する	p.77
	露出補正	□（オフ）	する	する	p.79
	デジタルズーム	☑（オン）	する	する	p.69
	DISPLAY	□（オフ）	する	する	p.80、p.92
	ファイルNo.	☑（オン）	する	する	—
グリーンボタン		グリーンモード	する	する	p.40
日付写し込み		オフ	する	する	p.84

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラスト メモリ設定	リセット設定	参照
フォーマット		キャンセル	—	—	p.133
サウンド	音量	3	する	する	p.134
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	☑（オン）	する	する	
日時設定	表示スタイル（年月日）	初期設定による	する	しない	p.31
	表示スタイル（時間）	初期設定による	する	しない	
	日付	初期設定による	する	しない	
	時刻	初期設定による	する	しない	
ワールドタイム	時刻切替	⌂（現在地）	する	する	p.138
	目的地（都市）	初期設定による	する	しない	
	目的地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	□（オフ）	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.29
フォルダ名		日付	する	する	p.141
USB接続		PC	する	する	p.143
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.144
LCDの明るさ		−■+（標準）	する	する	p.145

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
エコモード	5秒	する	する	p.146
オートパワーオフ	3分	する	する	p.147
リセット	キャンセル	—	—	p.148

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.98
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	☑（オン）	する	する	
リサイズ		元画像による	—	—	p.109
トリミング		元画像による	—	—	p.111
画像/音声コピー		キャンセル	—	—	p.112
画像回転		正位置	—	—	p.37
デジタルフィルタ		白黒	しない	—	p.114
明るさフィルタ		±0.0	しない	—	p.115
フレーム合成		デフォルト1	する	する	p.117
赤目補正		—	—	—	p.121
プロテクト	1画像/音声	画像/音声による	—	—	p.107
	全画像/音声	画像/音声による	—	—	
DPOF設定	1画像	枚数：0枚 日付：オフ	—	—	p.122
	全画像		—	—	p.124
削除画像復活		キャンセル	—	—	p.106

● キーによる操作

名称		機能	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
▶ボタン		動作モード	再生モード	—	—	—
ズーム/♠♠♠/♠ボタン		ズーム位置	広角端	※	しない	p.69
十字キー	▲	ドライブモード	□（標準）	※	する	p.81、p.82
	▼	撮影モード	AUTO PICT（オートピクチャー）	する	する	p.48
	◀	ストロボモード	⚡A（オート）	※	する	p.75
	▶	フォーカスモード	AF（標準）	※	する	p.72

9 付録

名称	機能	初期設定	ラスト メモリ設定	リセット設定	参照
MENUボタン	メニュー表示	撮影モード： 「撮影メニュー」 再生モード： 「設定メニュー」	—	—	p.43
OK/DISPLAYボタン	情報表示	標準	※	する	p.80、p.92
ボタン	動作モード	顔認識オン	※	する	p.50

撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
▲：固定設定のため変更できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。
×：設定できません。

		AUTO PICT	P								
（オート）	○	○※8	○※8	×	×	×	○	○	○	○※8	○
（発光禁止）	○	○	○	○	▲	×	○	○	○	○	○
（強制発光）	×	○※8	○※8	○	×	×	○	○	○	○※8	○
（オート＋赤目）	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
（強制＋赤目）	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
（セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（2秒セルフタイマー）	○※1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（連続撮影）	×	×	○	×	×	×	○	×	○※6	○	○
（16連写）	×	×	○	×	×	×	×	×	○※6	○※9	○
AF（標準）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（マクロ）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
（無限遠）	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
PF（パンフォーカス）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
記録サイズ	▲	○	○	○	○※2	△	▲	▲	○※7	○※10	○
画質	▲	○	○	○	○※2	△	○	▲	○	○	○
AFエリア	▲	▲	○	○	○※3	△	○	○	○	○	○
感度	▲	○	○	○	▲	△	▲※5	○	○	○	○
露出補正	×	×	○	○	○※4	△	○	○	○	○	○
動画	×	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△
デジタルズーム	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
モードメモリ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日付写し込み	×	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○

※1　以外の撮影モードで設定した方が使用可能。
※2　「動画」設定値に準ず。
※3　自動追尾は不可。
※4　撮影中は不可。
※5　高感度オート固定。
※6　では、連続撮影と16連写は不可。
※7　では、2M固定。「撮影」メニューでの変更不可。
※8　人物の顔を認識した場合、顔認識AF&AEで動作する。このとき、ストロボ発光する場合は強制＋赤目でストロボを発光。
※9　では16連写は不可。
※10　では、3M固定。「撮影」メニューでの変更不可。

9
付録

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプターキット K-AC62J

USB/AVケーブル I-UAV77（※）

ストラップ

O-ST62（※）

O-ST24　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

O-ST8　シルバーに輝くチェーンストラップです。

O-ST30, O-ST81　表面をビニールコートしたストラップです。

カメラケース

O-CC72

O-CC81

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、画像モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

電池容量がなくなりました	電池の残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.19）
内蔵メモリーの空き容量がありません	内蔵メモリー／SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.23、p.102） 撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.109）
カードの空き容量がありません	
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.133）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.25）
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影または保存してください。
画像/音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダが作成できません	最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されている、あるいはSDメモリーカードに記録された画像、動画、音声の合計が10000に達したため、ファイルを保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.133）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
記録中です	画像がまだ記録中に、再生モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます

処理できる画像がありません	画像／音声ファイルが1つもない場合に表示されます。
この画像/音声を処理できません	処理できないファイルを編集しようとすると表示されます。
カードが入っていません	SDメモリーカードがセットされていない状態で「画像/音声コピー」を選択すると表示されます。
カードの空き容量が足りません 画像/音声をコピーできません	SDメモリーカード／内蔵メモリーにコピーに必要な空き容量がありません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.23、p.102）
内蔵メモリーの空き容量が足りません 画像/音声をコピーできません	
正しく処理できませんでした	赤目補正処理ができなかった場合に表示されます。

PictBridge機能を使用する場合に、画像モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙が少なくなりました	接続したプリンターの用紙残量が少ない場合に表示されます。
用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクが少なくなりました	接続したプリンターのインク残量が少ない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室内の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.19）
	電池の残量がない	新しい電池を入れてください。または、ACアダプターを使用してください。
画像モニターに何も表示されない	パソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
	AV機器に接続している	AV機器に接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
画像モニターの表示が確認しづらい	画像モニターの明るさが暗く設定されている	「🔧設定」メニューの「LCDの明るさ」で明るさを調整してください。（p.145）
	節電機能（エコモード）が働いている	節電機能が働いていると、一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなります。何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。「🔧設定」メニューの「エコモード」で「オフ」に設定することで、節電機能が働かないようにすることもできます。（p.146）
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.23、102）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	フォーカスロックをして撮影してください（p.73）。
	フォーカスフレーム内に被写体が入っていない	画像モニター中央のフォーカスフレーム内に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものをフォーカスフレーム内にいれてフォーカスロックし、撮りたい構図になおして撮影します（p.73）。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードをにセットしてください。（p.72）
	フォーカスモードがになっている	フォーカスモードがにセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が（発光禁止）になっている	オートまたは（強制発光）に設定してください。（p.75）
	ドライブモードが、、フォーカスモードが、撮影モードがになっている	これらのモードではストロボは発光しません。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	USB接続が「PictBridge」になっている	カメラのUSB接続を「PC」に切り替えてください。（p.143）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	USB接続が「PC」になっている	USB接続を「PictBridge」に切り替えてください。（p.125）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	約1010万画素	
撮像素子	種別	CCD
	サイズ	1/2.33型
記録画素数	静止画	10M (3648×2736)、7M (3072×2304) 5M (2592×1944)、3M (2048×1536) 2.1M (16:9) (1920×1080)、1024（1024×768） 640（640×480）（単位はピクセル） ※フレーム合成、ベストフレーミング時は3M（2048×1536）に固定 ※パノラマは1コマ2M（1600×1200）に固定 ※16連写は1コマ640（640×480）に固定、1枚が2560×1920に固定
	動画	640（640×480）、320（320×240）単位はピクセル
感度 (標準出力感度)	オート、マニュアル（ISO100 ～ 6400※） ※ Digital SRモード選択時	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2準拠）、DCF2.0準拠、DPOF対応、PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（Motion JPEG準拠）、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、音声付
	音声	WAVE（PCM）方式、モノラル
記録媒体	内蔵メモリー（約6.3MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード	

静止画撮影枚数

	★★★（S.ファイン）		★★（ファイン）		★（エコノミー）	
	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB
10M 3648×2736	1枚	120枚	2枚	241枚	4枚	344枚
7M 3072×2304	1枚	160枚	3枚	301枚	4枚	402枚
5M 2592×1944	2枚	192枚	4枚	371枚	6枚	536枚
3M 2048×1536	3枚	301枚	7枚	603枚	11枚	878枚
16:9 1920×1080	5枚	439枚	7枚	603枚	11枚	878枚
1024 1024×768	14枚	1074枚	24枚	1859枚	32枚	2417枚
640 640×480	29枚	2197枚	46枚	3453枚	54枚	4028枚

撮影枚数は目安です。SD メモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画撮影時間・音声録音時間

	動画（30fps）		動画（15fps）		音声	
	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB	内蔵メモリー	512MB
640 640×480	7秒	9分56秒	14秒	17分54秒	10分6秒	12時間28分27秒
320 320×240	15秒	19分53秒	28秒	35分48秒		

撮影時間・録音時間は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影時間・録音時間は異なることがあります。

レンズ	焦点距離	5.7mm〜17.1mm （焦点距離の35mm換算値:約32mm〜約96mm相当）
	F値	F2.9（W）〜F5.2（T）
	レンズ構成	6群7枚（非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	レンズバリア	電動式
デジタルズーム倍率		約5.7倍
画像モニター	形式	LCD
	イメージサイズ	2.4型
	ドット数	約11.2万ドット
	輝度調整	輝度調整2段階(エコモード、ノーマル）
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大10倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、カレンダー表示、回転表示、音声再生、スライドショウ、動画再生、選択消去、画像/音声コピー、デジタルフィルタ（白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄）、明るさフィルタ、トリミング、リサイズ、フレーム合成、赤目補正、プロテクト、DPOF機能あり、削除画像復活、顔アップ再生	

フォーカスモード	オートフォーカス、マクロ、無限遠、パンフォーカス	
	AF方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式（マルチ／スポット／自動追尾切替可）
	撮影距離範囲（レンズ先端から）	ノーマル ：0.5m～∞（ズーム全域 ） マクロ ：0.1m～0.6m（広角時） ※ 無限遠、パンフォーカス切替可 ※ 顔認識中のみ、顔認識AF可
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式	分割測光
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	グリーン、オートピクチャー、プログラム、夜景、夜景ポートレート、ベストフレーミング、動画、風景、花、ポートレート、サーフ＆スノー、スポーツ、Digital SR、キッズ、ペット、料理、パノラマ、フレーム合成、ボイスレコーディング ※ 顔認識中のみ、顔認識AE可	
動画	連続録画時間	約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで（ただし最大で2GBまでの制限あり）
デジタルフィルタ	白黒、セピア、赤、桃、紫、青、緑、黄	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	シャッタースピード	1/2000秒～1/4秒、最長4秒（夜景モード）
内蔵ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減（夜景モード時のみ低速シンクロ可能）
	調光範囲	ワイド：約0.1m～6.0m（感度オートの条件において） テレ ：約0.35m～3.2m（感度オートの条件において）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影、16連写	
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
電源	単3形電池２本（アルカリ、リチウム、ニッケルマンガン、ニッケル水素充電池）、ACアダプターキット（別売）	

電池寿命	撮影可能枚数 約200枚	※撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA規格抜粋 : 画像モニターON、ストロボ使用率50%、23℃) ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。 ※単3形アルカリ電池使用時
	再生時間 約280分	
	動画撮影時間 約70分	
	音声録音時間 約420分	
外部インターフェイス	USB2.0(ハイスピード対応)/ USB/AV端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL(モノラル音)	
PictBridge	対応プリンター	PictBridge対応のプリンター
	印刷モード	1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷
	用紙サイズ指定	カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定
	用紙タイプ指定	★★★、★★、★、プリンター設定
	印刷品質設定	★★★、★★、★、プリンター設定
	ふち指定	あり、なし、プリンター設定
外形・寸法	約98(幅)× 59(高)× 25(厚)mm(操作部材、突起部を除く)	
質量	約130g(電池、SDメモリーカード含まず)	
撮影時質量	約175g(電池、SDメモリーカード含む)	
主な付属品	単3形アルカリ電池(2本)、USB/AVケーブル、ソフトウェア(CD-ROM)、ストラップ、使用説明書、PC接続ガイド、保証書	

索引

記号

数字

A

D

I

M

N

O

P

S

9
付録

9 付録

ま行

ら行

9

付録

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ

HOYA株式会社
PENTAXイメージング・システム事業部
東京サービスセンター

03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス流通センター内
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

HOYA株式会社
PENTAXイメージング・システム事業部
大阪サービスセンター

06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）